

## リカレント教育の状況について

島根大学

(R4.9時点取りまとめ)

### 全学実施分

○山陰ツーリズム人材育成塾（山陰インバウンド機構との連携事業：令和3年度から）

・受講状況

R3：修了者17名に履修証明を交付

R4：19名から応募があり，選考に合格した15名で講座を開始

・概要，募集要項，チラシ －資料①

[https://www.shimane-u.ac.jp/education/school\\_info/edu\\_programs/edu\\_program09.html](https://www.shimane-u.ac.jp/education/school_info/edu_programs/edu_program09.html)

### 学部・研究科実施分

#### 【教育学部】

○現職教員研修

・島根県・鳥取県教育委員会との連携による、学校をマネジメントするミドルリーダー教員研修プログラム －資料②

・受講者数 R元：23名 R2：中止 R3：20名 R4：20名

・60時間の履修証明プログラム

○社会教育主事講習

・社会教育主事の職務を遂行するために必要な専門的知識、技能を修得させ、社会教育主事となりうる資格を付与することを目的とし、社会教育士と地域教育魅力化コーディネーターを育成するプログラム －資料③－1・③－2

・受講者数 R2：36名 R3：50名 R4：59名

・社会教育主事講習等規程第3条に定める単位（8単位）を修得した者に修了証書を授与。また、所定の6単位を修得した者に対し、「地域教育魅力化コーディネーター」の履修証明書を併せて交付

・関連 URL <https://www.edu.shimane-u.ac.jp/docs/2022042500018/>

#### 【生物資源科学部】

○R3就農支援リカレント教育プログラム

・島根県で就農を希望する方を支援する教育プログラム －資料④

・受講者数 R3：54名

○R4 農林業就業支援リカレント教育プログラム

- ・ 島根県で農林業への就業を希望する方を支援する教育プログラム ー資料⑤
- ・ 受講者数 R4募集中
- ・ 関連 URL [https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu\\_annai/reccurent1.html](https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/reccurent1.html)  
<https://manapass.jp/portal/course/detail/8/1562248>
- ・ 1科目から受講可能。所定の選択必修科目を履修すると履修証明書を発行

【自然科学研究科】

○社会人キャリアアップノンディグリープログラム（社会人の学び直しプログラム）

- ・ 新たな知識・技術の修得または自学では理解のむずかしい理論・技術の学び直しに意欲をもち、地域産業や地域社会で活動する社会人で、本プログラムに興味を持ってスキルアップを目指す人
- ・ 受講者数 R2：6名（前期課程6名）  
R3：8名（前期課程6名、後期課程2名）  
R4：8名（前期課程8名）
- ・ 60時間以上の履修証明プログラム
- ・ 募集要項 ー資料⑥

【山陰法実務教育研究センター】

○地域社会や職場等における法実務スキルアップのための“特別教育プログラム”

- ・ 地域社会や職場等の中で法実務に従事または係わっておられる社会人向けのスキルアップ教育プログラム ー資料⑦
- ・ 受講者数 R2：6名（オンライン） R3：6名（オンライン）  
R4：5名（オンライン）
- ・ 関連 URL <https://www.houjitsumu.shimane-u.ac.jp/docs/2022040800011/>
- ・ 60時間以上の場合は履修証明書、60時間未満の場合は受講証明書を発行

受験生・保護者 学生・保護者 卒業生 企業・研究者 一般・地域

JP ▼

アクセス キャンパスマップ サイトマップ お問い合わせ

🔍

大学紹介

学部・大  
学院

国際交流

地域貢献

研究  
産学官連  
携

学生生活

就職・進  
路

各種手続  
き  
相談窓口

入試情報

教育（学部・大学院）

[法文学部・人文社会科学  
研究科](#)

[教育学部・教育学研究科](#)

[人間科学部](#)

[医学部・医学系研究科](#)

[総合理工学部・総合理工  
学研究科](#)

[生物資源科学部](#)

[材料エネルギー学部（仮  
称）](#)

[人間社会科学研究科](#)

[自然科学研究科](#)

[修学インフォメーション](#)

[学部・研究科の3つの方  
針、カリキュラムツリ  
二、カリキュラムマップ](#)

[各種教育プログラム](#)

[休講情報](#)

[シラバス](#)

[大学院連携科目（他研究  
科開放科目）](#)

[授業評価\(学内限定\)](#)

[授業に関するお知らせ](#)

[取得可能な学位](#)

[教室担当表](#)

[しまだいパワフルプロ  
グラム](#)

[TOP](#) > [教育\[学部・大学院\]](#) > [修学インフォメーション](#) > [各種教育プログラム](#) > [山陰ツーリズム人材育成塾](#)

## 山陰ツーリズム人材育成塾



### ●山陰ツーリズム人材育成塾の趣旨・目的

今後の地方創生の重要な鍵となるのが地方による「観光」の取組であり、また観光産業は、幅広く他産業ともつながって地域経済を支える大きな柱となっています。山陰地域の活性化においても、「観光」は非常に大きな役割を担っています。

その「観光」とは、地域資源（伝統、生活文化、自然、産物等）を価値化し有効に活用すること、地域資源を活用しながら後世に残していくこと、観光地域づくり、観光ビジネスの展開等であり、そういった「観光」を実践できる人材が求められています。

本塾は、上述のような課題に答えるため、観光に関わる主体をつなぐ資質・能力を持つ人材を育成・輩出し、人材間のつながりを形成・発展することで、地域全体を活性化させることを目的とし、島根大学の主催で開講します。地域社会に貢献する人材を育成・輩出する大学の使命において、本塾は今後を見据えた重要な取組です。また、「観光」のノウハウを持った一般社団法人山陰インバウンド機構と連携し、「観光」の現状把握や今後の取組や実践に必要な知識の習得、また自らの事業を企画・試行実践することができる教育プログラムを提供していきます。本塾の教育プログラムを通じて、①山陰地域を観光によって活性化させようという意志、②自らの観光ビジネス・活動を展開できる資質・能力、③地域の多様な主体をつなぐ・巻き込むスキルを持つ山陰の観光事業者＝「山陰ツーリズム・リーダー」を育成します。

TOP

学びのセルフプロデュースMAP
教員検索システム
附属図書館
各授業科目における到達目標の達成状況
博士後期課程・博士課程 学生支援事業：S-SPRING

カリキュラムの一部は大学生も参加受講



## 人材育成塾での学び

- ① 観光事業に関する専門的で幅広い知識を得る場
- ② 事業を企画し、実践するための試行の場
- ③ 同じ志を持つ仲間との切磋琢磨・関係構築の場  
(前年度・1期生との関係構築も実施)

## 専門家による伴走支援

※事業化、商品造成・観光街づくり等を伴走支援



## 募集する人物像

- ① 地域に根差した観光事業の再構築を検討している事業者
- ② 観光で起業（新規事業の展開等）を企画検討している社会人や学生
- ③ 「主体性・リーダーシップ・挑戦意欲」を持つ社会人や学生等



## 育成すべき人物像

- ① 山陰地域を観光によって活性化させようという意志
- ② 自力で観光ビジネス・活動を展開できる遂行力(行程管理)
- ③ 地域の多様な主体をつなぐ(チームビルディング)

観光中核人材

観光マネジメント人材



●履修期間：令和4年9月20日～令和5年2月19日

●応募締切：令和4年8月19日（金）17:00 ※締め切りました

●教育プログラムの特徴

## 山陰ツーリズム人材育成塾のカリキュラム

### 知識習得講座

「観光 × 地域」の専門家による講義

### 育成塾ゼミ

教員・受講生同士の学び合い、事業企画

### 視察・モニターツアー

先進事例の視察調査、観光プランのモニタリング

### 事業化支援 2枠限定

受講生等企画の事業化・商品造成等の伴走支援

山陰ツーリズム人材育成塾の教育プログラムは、山陰地域に求められる観光人材を育成するプログラムとして新たに開発したもので、履修内容に示す講義・実習を受講すると共に、これらの知識を基に観光事業の開発に取り組みます。全体として、約5カ月間にわたって授業を受講します。

さらに、カリキュラム枠外で、受講者の観光事業化や商品造成を伴走支援し、受講者個々のニーズに対応した教育・支援を受けることができます。

また、平日夜間（19時～）や休日等、オンライン中心のカリキュラムで仕事を続けながらも無理なく受講できます。

内容の詳細は[募集要項を参照下さい](#)。

●募集要項・応募書類

※今年度の応募は締め切りました

●チラシ

[山陰ツーリズム人材育成塾受講生募集チラシ\[PDF: 6.44MB\]](#)

## ●知識習得講座（申込者限定YoutubeLive配信）

「観光の取組」「求められる人材」「日本、山陰の現状とこれから」「必要とされる考え方・手法、事例」等、各専門家、実践者に講義いただき、塾生の課題解決に向けて知識習得していくもので、下記のとおり全8回を予定しています。ぜひご聴講ください。

第1回講座 申込URL <https://forms.office.com/r/1dXMfcTYN9> ※ 締切 9月15日 23:59までにお申し込みください。

※ 一度お申込みいただければ、今後の講座のご案内は、都度自動的にお案内をさせていただきます。

※ 下記に講座一覧がございますが、現在予定であり、日程、内容は変更となる可能性がありますので、ご了承ください。

※ 公開講座は当日のみの視聴となります。資料配布も行いませんのであらかじめご了承ください。

.....

## 【今後の日程、内容のご紹介】

第一回 9/20 18:50~20:20

テーマ：「観光」とは何か？～地方を豊かにする「観光」と求められる観光人材について～

講師：一般社団法人山陰インバウンド機構 マネジメント部長 米村 康幸氏

第二回 10/3 19:00~20:40

テーマ：日本の現状と観光政策、山陰の現状、調査事業より明らかになった山陰の魅力、地方の目指すべき姿等を知る

講師：公益財団法人中国地域創造研究センター 調査・研究部みらい創造グループグループ長／主席研究員 吉原 俊朗氏

第三回 10/17 15:00~16:40

テーマ：地域に根差した観光事業の立上げと展開

講師：「湯るり・HiSOM・燈Tomoru・WATOWA」宿泊飲食事業経営者 近江 雅子氏

合同会社 現象舎 代表社員 西田 優花氏



第四回 10/31 19:00~20:40

テーマ：観光商品開発と実践

講師：株式会社 Feel Japan 代表取締役 藤田 勝光氏

第五回 11/14 19:00~20:40

テーマ：観光地域づくりと観光商品の必要性を知る

講師：株式会社インアウトバウンド仙台・松島 代表取締役 西谷 雷佐氏

第六回 11/21 19:00~20:40

テーマ：インバウンド事業者が語る山陰の取組の現状と地域活性化への取組

講師：株式会社 プリムローズガーデン 執行役員COO 仁連 一星氏

第七回 12/7 19:00~20:40

テーマ：日本初（アジア初）のアルベルゴディフーズの取組より

講師：株式会社シャンテ 代表取締役 安達 精治 氏

第八回 12/19 19:00～20:40

テーマ：持続可能な「観光」の実践と、そのために山陰に求められる人材や必要な考え方とは

講師：株式会社美ら地球 代表取締役 山田 拓 氏

●問合せ先：

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

島根大学 教育・学生支援部教育企画課

(山陰ツーリズム人材育成塾担当)

TEL (0852) 32-6052

E-mail epd-kyoiku@office.shimane-u.ac.jp

※この事業は、令和4年度訪日外国人旅行者周遊促進事業を活用する  
一般社団法人山陰インバウンド機構の委託を受けて実施するものです。



一般社団法人

山陰インバウンド機構

[教職員向けサイト](#)

[教員検索システム](#)

[学務情報システム](#)

[島根大学Moodle](#)

[学年暦](#)

[財務・調達情報](#)

[教育情報の公表](#)

[教育学部附属学校園](#)

[医学部附属病院](#)

[図書館・本部・全学施設等](#)



国立大学法人

島根大学

松江キャンパス

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

TEL：0852-32-6100（代表）

出雲キャンパス

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町89-1

TEL：0853-23-2111（代表）



LINE



公式アカウント一覧

[PC表示](#)

[スマホ表示](#)



[サイトポリシー](#) | [プライバシーポリシー](#)

Copyright(c)2016 Shimane University. All Rights Reserved.

## 2022年度「島根大学教育学部現職教員研修」事業実施要項

島根大学教育学部附属山陰教員研修センター

### 1. 研修の目的

本研修は、島根大学教育学部が企画する講義・演習及び実習等から大学院レベルの特別プログラムに基づく現職教員研修であり、島根県・鳥取県教育委員会との連携・協働のもと、両県の教員育成指標に基づき、構成されている。

変化の激しい現代社会において、学校現場は複雑かつ多様な教育課題に直面しており、教員は、教職生活全体を通じて、実践的指導力を高めるとともに、知識・技能の絶えざる刷新に取り組むよう求められている。現在、学校においてこの中核的な役割を果たすミドルリーダー教員の育成が喫緊の課題となっているとともに、学校現場の多忙化や大量退職に伴う教員の年齢構成の変化に伴い、学校内の研修機能の低下が全国的に指摘されている。特に学校種を問わず規模の小さな学校が多い山陰地域では、新たに教職に就いた若手が学校現場に定着し、確実に指導力・教育力を身に付けられるよう「若手が育つ学校づくり」が課題となっている。

このような観点から、学校でミドルリーダーとして中核的な役割を果たすことが期待されている教員を対象として、若手教員の育成、特別なニーズのある児童・生徒への対応、新学習指導要領への対応などの学校における諸課題に対して、PBLを自ら経験することで問題発見・解決力を高めることができる主体的に学び続ける教師の資質・能力の育成を目的に、研修プログラムを実施し、ミドルリーダーとしての教員の資質向上を図る。

※PBLは問題解決学習や課題設定・達成学習などプロジェクト学習を意味する。

### 2. 受講対象者（募集人数）

受講対象者は、次の要件を満たす現職教員で、任命権者の推薦を受けた者とする。

- (1) 小学校、中学校、高等学校及び特別支援学校の主幹教諭（候補者を含む）など今後ミドルリーダー（おおよそ30～49歳）としての役割を期待される教員（20名程度）
- (2) 教育委員会の指導主事（若干名）
- (3) 島根大学教職大学院の学生及び附属学校の教員（若干名）
- (4) 高校魅力化コーディネーター等の山陰地域の学校教育に携わる者で、山陰教員研修センター長が認めた者（若干名）

### 3. 研修内容等

#### (1) 研修の名称及び内容

##### ○研修名

学校をマネジメントするミドルリーダー教員研修プログラム

##### ○研修の内容

本研修は、島根大学教育学部が企画する講義・演習及び実習等から構成される大学院レベルの特別プログラムに基づき実施する。

本研修の内容は、①誰もが働きやすく成長できる学校づくり、②教育活動の改善のための理論と方法、③カリキュラム・マネジメントの方法と私たちが描くべき教育ビジョンの探究、④上記の①～③を実践に繋げるPBLの4つから構成される。集合、遠

隔での研修と並行して、勤務校等で自ら課題解決に取り組むことで研修内容の理解をより深めるほか、PBLの方法を活かし、ミドルリーダーとして各学校の教育活動の改善を牽引する力を育成する。

また、島根県及び鳥取県教育関係者並びに島根大学教職大学院の学生、教育学部の学生の聴講を認めることで、現職教員を中心とする当該関係者間の交流を通じた学修を実現する。

#### ○研修時間数

本研修は計 60 時間のプログラムとする。

#### (2) 研修の期間及び場所

研修期間は計 9 日間とし、次の表のとおり 3 期に分けて実施する。

集合実施時の研修場所は島根大学教育学部附属山陰教員研修センター（島根県松江市大輪町 416-4）とする。

期	研修期間
前期	2022年 7月28日(木)～2022年 8月 3日(水) ※28日・29日は遠隔実施、1日～3日は集合実施
中期	2022年10月 6日(木)・2022年10月27日(木) ※共に遠隔実施
後期	2022年12月 8日(木)～2022年12月9日(金) ※共に集合実施

※1コマは100分間とする。

※12月8日(木)、12月9日(金)については、遠隔受講も認める。

#### 4. 講師

島根大学教員、県教育委員会職員、学外講師(国の機関、他大学教員、教育関係者等)とする。

#### 5. 修了証・資格の授与

2022年度プログラムにおいては、所定の課程を修了した者に、修了証を授与する。

#### 6. 履修証明書の交付

本研修プログラムの所定の課程を修了した者に、本学の履修証明プログラムである「島根大学ミドルリーダー教員養成コース」履修証明書を交付する。

#### 7. 受講料

受講料は徴収しない。ただし、実習教材費等の実費を徴収することがある。

#### 8. 事業の主催等

本研修事業は、島根県教育委員会及び鳥取県教育委員会の共催により島根大学教育学部及び島根大学教職大学院が主催する。

#### 9. その他

(1) 本研修事業の事務は、教育学部附属教師教育研究センターにおいて行う。

(2) その他研修の実施に関し、必要な事項は別に定める。

## 2022年度 島根大学教育学部現職教員研修

(前期)										
7/28(木)		7/29(金)		8/1(月)		8/2(火)		8/3(水)		
遠隔				集合						
1 08:40 ～ 11:00	【08:40～09:10】 接続テスト 【09:10～09:40】 開講式・オリエンテーション(研修の趣旨説明) 【09:40～11:00】 「オンライン学習システムの活用方法」 島根大学 教育学部 講師 津多 成輔	1 8:40 ～ 10:20	【選択①】 ★教育改善のための理論と方法 「『教育×テクノロジー』で培う『自ら学ぶ力』～自己調整学習を促進するために～」 東京都立大学 大学教育センター 教授 松田 岳士	1 09:30 ～ 10:20	★校内体制づくり/働き方改革の推進 「若手を育てるための コーチングとフィードバック」 (財)地域・教育魅力化プラットフォーム 理事・会長 水谷 智之	★課題設定演習 「現状の問題整理」 海士町役場人づくり特命担当 ひと・学び・還流づくりジェネレーター 豊田庄吾 島根大学 教職大学院 准教授 中村 伶詞 学内教員(ファシリテーター)	★課題設定演習 「学び続ける教師となる方法～本を読むということ～」 【09:30～10:50】 (大学図書館案内) 島根大学 教育学部 講師 津多 成輔	【11:00～12:10】 (大学図書館案内) 島根大学 教育学部 講師 津多 成輔	山陰教員研修センター	山陰教員研修センター
	オンライン実施		オンライン実施		山陰教員研修センター					
2 11:10 ～ 12:10	【11:10～12:10】 ★山陰の教育ビジョンを描く 「これからの山陰の教育と ミドルリーダーに期待すること」 島根県教育委員会・鳥取県教育委員会	2 10:30 ～ 12:10	【選択①】 ★教育改善のための理論と方法 「『教育×テクノロジー』で培う『自ら学ぶ力』～自己調整学習を促進するために～」 東京都立大学 大学教育センター 教授 松田 岳士	2 10:30 ～ 12:10	★校内体制づくり/働き方改革の推進 「若手を育てるための コーチングとフィードバック」 (財)地域・教育魅力化プラットフォーム 理事・会長 水谷 智之	★課題設定演習 「課題の設定」 海士町役場人づくり特命担当 ひと・学び・還流づくりジェネレーター 豊田庄吾 島根大学 教職大学院 准教授 中村 伶詞 学内教員(ファシリテーター)	山陰教員研修センター	山陰教員研修センター	山陰教員研修センター及び島根大学	
	オンライン実施		オンライン実施		山陰教員研修センター					山陰教員研修センター
昼休憩(12:10～13:00)										
3 13:00 ～ 14:40	★校内体制づくり/働き方改革の推進 「教師の多様性を活かすための 学校の改革とリーダーの役割」 大分大学 教職大学院 准教授 熊丸 真太郎	3 13:00 ～ 14:40	★校内体制づくり/働き方改革の推進 「働く人と組織が元気になる マネジメントの方法と働き方改革」 株式会社 ソフィアクロスリンク 代表取締役社長 廣田 拓也	3 13:00 ～ 14:40	★課題設定演習 「課題設定の意義・方法」 海士町役場人づくり特命担当 ひと・学び・還流づくりジェネレーター 豊田庄吾 島根大学 教職大学院 准教授 中村 伶詞 学内教員(ファシリテーター)	★課題設定演習 「課題の設定」 海士町役場人づくり特命担当 ひと・学び・還流づくりジェネレーター 豊田庄吾 島根大学 教職大学院 准教授 中村 伶詞 学内教員(ファシリテーター)	★山陰の教育ビジョンを描く 「キャリア教育と地域連携～ポートフォリオと対話的 指導が培う『子ども達の将来の在り方・生き方』～」 日本大学 文理学部教育学科 教授 望月 由起	山陰教員研修センター(講師のみオンライン)		
	オンライン実施		オンライン実施		山陰教員研修センター				山陰教員研修センター	
4 14:50 ～ 16:30	★校内体制づくり/働き方改革の推進 「教師の多様性を活かすための 学校の改革とリーダーの役割」 大分大学 教職大学院 准教授 熊丸 真太郎	4 14:50 ～ 16:30	★校内体制づくり/働き方改革の推進 「働く人と組織が元気になる マネジメントの方法と働き方改革」 株式会社 ソフィアクロスリンク 代表取締役社長 廣田 拓也	4 14:50 ～ 16:30	★課題設定演習 「VISION作り」 海士町役場人づくり特命担当 ひと・学び・還流づくりジェネレーター 豊田庄吾 島根大学 教職大学院 准教授 中村 伶詞 学内教員(ファシリテーター)	★課題設定演習 「課題の設定」 海士町役場人づくり特命担当 ひと・学び・還流づくりジェネレーター 豊田庄吾 島根大学 教職大学院 准教授 中村 伶詞 学内教員(ファシリテーター)	★山陰の教育ビジョンを描く 「キャリア教育と地域連携～ポートフォリオと対話的 指導が培う『子ども達の将来の在り方・生き方』～」 日本大学 文理学部教育学科 教授 望月 由起	山陰教員研修センター(講師のみオンライン)		
	オンライン実施		オンライン実施		山陰教員研修センター				山陰教員研修センター	
5 16:40 ～ 17:10	自己研修 (復習・意見交換・予習)	5 16:40 ～ 17:10	自己研修 (復習・意見交換・予習)	5 16:40 ～ 17:10	自己研修 (復習・意見交換・予習)	自己研修 (復習・意見交換・予習)	自己研修 (復習・意見交換・予習)	山陰教員研修センター		
	オンライン実施		オンライン実施		山陰教員研修センター	山陰教員研修センター	山陰教員研修センター			

(中期)			
10/6(木)		10/27(木)	
遠隔			
1 8:40 ～ 10:20	【選択②】 ★山陰の教育ビジョンを描く 「学校の組織改革と地域連携のプロセス ～『学校の良さ理解者』を増やすために～」 島根県立隠岐島前高等学校 学校経営補佐官 大野 佳祐 (大野先生よりもう一名の講師の推薦予定)	2 10:30 ～ 12:10	【選択④】 ★山陰の教育ビジョンを描く 「コミュニティデザインからみた『学校』 ～学校と地域の創造性を高めるために～」 岡崎 エミ
	オンライン実施		オンライン実施
2 10:30 ～ 12:10	【選択②】 ★山陰の教育ビジョンを描く 「学校の組織改革と地域連携のプロセス ～『学校の良さ理解者』を増やすために～」 島根県立隠岐島前高等学校 学校経営補佐官 大野 佳祐	2 10:30 ～ 12:10	【選択④】 ★山陰の教育ビジョンを描く 「コミュニティデザインからみた『学校』 ～学校と地域の創造性を高めるために～」 岡崎 エミ
	オンライン実施		オンライン実施
昼休憩(12:10～13:00)			
3 13:00 ～ 14:40	【選択③】 ★教育改善のための理論と方法 「『障害児』を包摂する教室空間」 常葉大学 健康プロデュース学部 講師 羽田野 真帆	3 13:00 ～ 14:40	★課題設定演習 「PBL中間発表」 島根大学 教職大学院 講師 松尾 奈美(司会) 学内教員(ファシリテーター)
	オンライン実施		オンライン実施
4 14:50 ～ 16:30	【選択③】 ★教育改善のための理論と方法 「『障害児』を包摂する教室空間」 常葉大学 健康プロデュース学部 講師 羽田野 真帆	4 14:50 ～ 16:30	★課題設定演習 「PBL中間発表」 島根大学 教職大学院 講師 松尾 奈美(司会) 学内教員(ファシリテーター)
	オンライン実施		オンライン実施
5 16:40 ～ 17:10	自己研修 (復習・意見交換・予習)	5 16:40 ～ 17:10	自己研修 (復習・意見交換・予習) PBL相談会
	オンライン実施		オンライン実施

(後期)			
12/8(木)		12/9(金)	
集合			
1 09:30 ～ 10:20	最終発表準備		★校内体制づくり/働き方改革の推進 「教師の成長とリフレクション(省察) ～現状を評価し次の課題解決につなぐ～」 (調整中) 島根大学 教職大学院 准教授 久保 研二
	山陰教員研修センター		山陰教員研修センター
2 10:30 ～ 12:10	最終発表準備		★課題設定演習 「実践報告と課題の再設定」 島根大学 教職大学院 准教授 久保 研二、中村 伶詞 学内教員(ファシリテーター)
	山陰教員研修センター		山陰教員研修センター
昼休憩(12:10～13:00)			
3 13:00 ～ 14:40	★校内体制づくり/働き方改革の推進 ★教育改善のための理論と方法 「教師が学び合う授業研究・授業づくり」 島根大学 教職大学院 講師 松尾 奈美		★課題設定演習 「実践報告と課題の再設定」 島根大学 教職大学院 准教授 久保 研二、中村 伶詞 学内教員(ファシリテーター)
	山陰教員研修センター		山陰教員研修センター
4 14:50 ～ 16:30	★校内体制づくり/働き方改革の推進 ★教育改善のための理論と方法 「教師が学び合う授業研究・授業づくり」 島根大学 教職大学院 講師 松尾 奈美		★課題設定演習 「実践報告と課題の再設定」 島根大学 教職大学院 准教授 久保 研二、中村 伶詞 学内教員(ファシリテーター)
	山陰教員研修センター		山陰教員研修センター
5 16:40 ～ 17:10	自己研修 (復習・意見交換・予習)		閉講式
	山陰教員研修センター		山陰教員研修センター

人とともに 地域とともに  
国立大学法人

島根大学 教育学部

Faculty of Education, Shimane University

[English](#)[教職員用](#)[Twitter](#)[Facebook](#)[Instagram](#)

サイト内検索

[島根大学マスク着用ルール](#)[学部紹介](#)[大学院紹介](#)[専攻・センター](#)[教育学部の活  
動](#)[在学生・卒業  
生](#)[入試情報](#)

## 令和4年度島根大学社会教育主事講習について

公開日 2022年05月13日

令和4年度も島根大学は社会教育主事講習（地域教育魅力化コーディネーター育成コース）を開講

### 1. 概要（予定）

【期間】令和4年7月16日～令和5年1月22日

【実施方法】ICTを活用した遠隔講義と集中講義の併用

【定員】50名



### 2. 事前調査について

本講習の特徴と受講生のニーズとのマッチングを図り、受講生にとって充実した学びの場となるようにするため実施します。  
（提出必須）

受講を検討される場合には、必ず以下の応募要項サイトをご覧ください。

[応募要項サイト](#)

### 3. 島根大学社会教育主事講習について

- ・パンフレット[PDF : 848KB] 
- ・令和4年度 社会教育主事講習実施要項[PDF : 333KB] 
- ・令和4年度 島根大学社会教育主事講習 日程表等[PDF : 490KB] 
- ・受講申込関係書類一式（様式1～様式3） [DOCX : 27.9KB]  【6月8日（水）締切】

#### ※【重要】注意事項

受講申込みには、これとは別に、**5月31日（火）締切の事前調査票の提出が必要です**。詳しくは、上記「2. 事前調査について」掲載の**応募要項サイト**  をご覧ください。

### 4. 問合せ先

〒690-8504

島根県松江市西川津町1060番地

島根大学教育学部社会教育主事講習事務担当 

※お問い合わせは、メールのみにて受け付けています。

※都道府県教育委員会担当者の方へ

受講希望者のとりまとめにあたっては、以下のファイルをご使用ください。

- ・受講希望者一覧[XLSX : 18.1KB] 



島根大学教育学部  
Faculty of Education, Shimane University

〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

© 2011 国立大学法人島根大学教育学部 Faculty of Education, Shimane University



社会教育士

# 社会教育主事講習

地域教育魅力化コーディネーター育成コース

主催：島根大学教育学部

— 地域づくり・人づくりに活躍する

学びの専門人材を養成—

LOCAL COMMUNITIES

SCHOOLS

COORDINATORS



人とともに 地域とともに  
国立大学法人  
島根大学

SHIMANE  
University

## 社会教育士と地域教育魅力化コーディネーターを育成

本学の社会教育主事講習は、主体的、対話的、協働的、探究的な学びを通じて、学校や地域における「人づくり」「つながりづくり」「地域づくり」に生かせるマネジメント能力、コーディネート能力、ファシリテート能力を身につけた「学びの専門人材＝社会教育士」を育成します。また、島根大学履修証明プログラム「地域教育魅力化コーディネーター育成コース」を併設し、社会に開かれた教育課程、学校と地域の多様な主体とのつながりや仕組みづくりに取り組む地域教育魅力化コーディネーターを育成します。

### コースの特徴

- ◆学校と地域の協働に重点化したカリキュラム！
- ◆オンラインを活用した対話的、協働的、探究的な学び！
- ◆現役実践者と大学教員による実践知と学術知の融合！
- ◆現場での実践に伴走する演習ゼミ！

### 履修内容

詳細はウェブシラバスをご参照ください。

- ◆生涯学習概論  
(地域教育概論) ⇒ 地域学校協働活動や学びを通じた人づくり等を進めるために必要な社会教育・生涯学習の基盤となる知識を学びます。
- ◆生涯学習支援論  
(地域学習支援論) ⇒ 地域資源を活かした探究的な学びや地域学習に関する教育理論、学習プログラムの編成、ファシリテーション技法等を学びます。
- ◆社会教育経営論  
(地域教育経営論) ⇒ 多様な主体と連携しながらプロジェクトや課題発見解決等を進めるためのマネジメント能力を磨きます。
- ◆社会教育演習  
(地域教育演習) ⇒ 地域教育に関する課題を設定し解決に取り組むプロジェクト学習を通して、総合的な実践力及び探究的に学び続ける力を磨きます。



修了者には、「社会教育主事講習」修了証書と「地域教育魅力化コーディネーター育成コース」履修証明書が交付されます。



人とともに 地域とともに  
国立大学法人

島根大学

# こんな皆さんにおすすめです！

## コーディネーター

学校と地域の多様な主体とのつながりづくりに必要なコーディネート能力や社会に開かれた教育課程、探究学習などの設計やファシリテートのスキルが身に付きます。



## NPOに所属する人

地域づくりや地域の課題解決に取り組む方には欠かせない、行政や住民等との連携・協働をスムーズにする「学び」のスキル・ノウハウが体系的に身につきます。



## 企業

企業が地域とともに持続的に発展していけるよう、地域の課題解決やSDGsの推進にも積極的に関わっていきたいという方、特に企業のCSR担当の方におすすめです。



## 学校の教職員

子供の主体的・対話的で、探究的な学びの場や、社会に開かれた学校づくりを進めていくために、地域の人と連携したいと思っている方におすすめです。



## エントリー（応募）フロー

検索エンジンで「島根大学教育学部 社会教育主事講習」と検索。本学教育学部HPの講習情報記載ページ掲載されている「応募要項サイト」のリンクを選択して応募要項サイトをご確認ください。

右のQRコードを読み込むことでも「応募要項サイト」を確認できます。



### 応募要項サイト

受講資格の確認

日程表の確認

### ガイダンス動画

ガイダンス動画の視聴申込み後、視聴URLをお知らせします。

### 必要書類の作成と提出

事前調査票

申込書

### 選考と受講決定

募集定員を超えた場合、選考

受講決定通知(7月上旬発送予定)

島根大学社会教育主事講習(事務担当)  
〒690-8504 島根県松江市西川津町1060

お問い合わせは、メールのみにて受け付けています。  
Mail: kosyu@edu.shimane-u.ac.jp

# 島根大学、島根県、各農業支援団体のコンソーシアムで 島根県内就農までをしっかりと支援!

## ●公益財団法人 ふるさと島根定住財団

### しまねUターン産業体験助成

島根県にUターン・Iターンし、農業・林業・漁業・伝統工芸・介護分野の産業を体験する場合に滞在に要する経費の一部を助成する制度です。

- 対象: 県外在住のUターン・Iターン希望者
- 対象業種: 農業・林業・漁業・伝統工芸・介護等
- 助成期間: 3か月以上1年以内 ※伝統工芸は2年以内
- 体験者助成額: 12万円/月 ※ただし、以下の場合6万円/月
  - ① 県内に居住する父母または祖父母と同居の場合
  - ② 二親等以内の親族が受入先となり体験を行う場合
  - ③ 伝統工芸の2年目
- 親子連れ助成額: 3万円/月(中学生以下・1世帯につき)
  - ※助成額は3か月ごとの支給となります。



「しまねUターンポータルサイト」にて産業体験の制度概要をはじめ、支援の流れ等をわかりやすく解説しています。



**お問合せ・相談窓口** 公益財団法人ふるさと島根定住財団  
出雲・隠岐地方 TEL0852-28-0690  
石見地方 TEL0855-25-1600

## ●公益財団法人しまね農業振興公社

しまね農業振興公社では、島根県で農業を始めたい方が相談から体験、研修、就農へとスムーズに進めるように様々な支援を行っています。また、就農希望者の皆さんへ様々な情報をお届けするサイトとして、「しまね就農支援サイト」を運営しています。

- 〈サイトの主な内容〉
- AIコンシェルジュ「就農しまね」
  - 農業体験プログラム
  - 就農相談会の開催(参加)計画
  - 就農へのロードマップ
  - オンライン産地ツアー
  - 農業法人等の求人情報
  - オンライン就農相談
  - 動画紹介:しまねの就農支援のしくみ
  - 就農パッケージ



まずは、「AIコンシェルジュ就農しまね」に相談してみてください!



**お問合せ** 公益財団法人しまね農業振興公社  
島根県松江市黒田町432-1  
TEL0852-20-2870

## ●島根県立農林大学校

### 農業科 短期就農コース

「卒業後に島根県内で就農見込みの方」向けの自営就農を目標とした研修・技術習得を行います。就農のための準備も関係期間と連携しサポートします。

- 〈特徴〉
- 農業経営者に必要な知識・技術が短期間で身につく
    - 農業初心者でも安心の分かりやすい講義を提供。
  - 卒業後の就農ビジョンをもって入学するので、移住～研修～就農までのプランが明確!
    - 県内各市町村が作成している研修内容・農地・住居・販路・経営モデル等をひとまとめにした「就農パッケージ」を参考に、就農予定地を決定することができる。
  - 入学生に応じたカスタム型のカリキュラム
    - 一人一人にあったオリジナルカリキュラムで就農に必要な知識・技術を習得できます。



**お問合せ** 島根県立農林大学校  
島根県大田市波根町970-1  
TEL0854-85-7012

文部科学省  
令和2年度「就職・転職支援のための大学リカレント教育推進事業」採択事業

## 島根大学

# 就農支援リカレント教育による 若者の就農希望実現プログラム

講座開講期間 / 2021年9月1日～2022年2月28日

**受講生募集**

受講料  
**無料**

定員  
**60名(予定)**

申込メ切  
**随時受付**



島根県内で就農を希望する  
あなたを応援します。

### 対象者

- 島根県内において自営就農および雇用就農(農業法人等)を目指す方(高校卒業以上で非正規雇用者、失業者、転職希望者の方)
- 農業に関する事前の知識・学歴は問いません。

### お問い合わせ先

**島根大学 生物資源科学部本庄総合農場**  
島根県松江市上本庄町2059  
TEL:0852-34-0311  
FAX:0852-34-1823  
E-mail: lif-honjo@office.shimane-u.ac.jp

**松江市からバスで**  
一畑バス「美保関ターミナル」行き  
旭の森(ひのもり)停留所下車。  
農場入口まで徒歩5分、  
主会場まで約15分。

**松江市内から車で**  
●川津ICから農場入口まで  
約3.5km、約10分。  
●島根大学から農場入口まで  
約6km、約15分。

## プログラム概要

全国各地からUターンして島根県で就農を夢見る若者は年間90人近くに上っていますが、農業の専門知識不足により挫折するケースも少なくありません。そこで、島根大学では島根県で就農を夢見る若者のために、農業の専門知識を獲得するための「就農支援リカレントプログラム」を実施いたします。

ふるさと島根定住財団・しまね農業振興公社が主催する「Uターンしまね産業体験」に参加する島根県内での就農希望者へ、島根大学の本プログラム基礎教育を提供することにより、農業の専門的基礎知識の習得を促します。さらに、本格的な就農を目指す希望者へは、島根県立農林大学校の就農準備コース・

短期養成コースに進み、本プログラム発展教育を受講することで、県内就農へと繋げてまいります。

島根大学を中心にしまね労働局、島根県農林水産部、ふるさと島根定住財団、しまね農業振興公社および島根県立農林大学校とがしっかりと連携したプログラム形成で、県内就農希望の受講者へしっかりとした支援を行ってまいります。



## 授業科目一覧

### ■基礎コース

ふるさと島根定住財団・しまね農業振興公社が主催する「Uターンしまね産業体験」に参加する島根県内就農希望者が対象となります。

分類	科目名	内容	受講方法	担当教員・実務家名	所属
必須	土壌肥料の基礎	農耕地土壌の特徴と肥培管理の留意点を解説します。また、様々な肥料の特性と施肥に関する基礎知識を解説します。	遠隔	松本 真悟 (実務家教員)	島根大学生物資源科学部
必須	病害防除の基礎	作物栽培における病害防除の注意点と対策を紹介するとともに適切な農薬の使用方法についても解説します。	遠隔	上野 誠	島根大学生物資源科学部
必須	虫害防除の基礎	害虫による農作物の障害を紹介するとともに、その防除技術について解説します。	遠隔	泉 洋平 (実務家教員)	島根大学生物資源科学部
必須	農業経営の基礎	農業経営を行う上において知っておきたい基礎的な知識を解説するとともに、集落営農や営農法人の在り方について紹介します。	遠隔	井上 憲一	島根大学生物資源科学部
選択	野菜花卉栽培の基礎	基本的な野菜・花卉栽培技術を解説します。	遠隔・対面	浅尾 俊樹 田中 秀幸	島根大学生物資源科学部 島根大学生物資源科学部
選択	果樹栽培の基礎	果樹栽培を行うための様々な果樹の生理生態について解説するとともに、栽培技術を紹介します。	遠隔・対面	松本 敏一 (実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択	水稻栽培の基礎	水稻栽培を行う上での基本的な栽培技術を紹介し、さらにコメの品質を高めるための肥培管理について解説します。	遠隔・対面	氏家 和広 (実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択	マメ・イモ類栽培の基礎	ダイズやアズキなどの豆類およびサツマイモを中心としたイモ類の基本的な栽培技術を解説します。	遠隔・対面	門脇 正行 城 惣吉	島根大学生物資源科学部 島根大学生物資源科学部

### ■発展コース

島根県立農林大学校の就農準備コース・短期養成コースへ入学及び在学する島根県内就農希望者が対象となります。

分類	科目名	内容	受講方法	担当教員・実務家名	所属
必須	施肥設計の実践	水稲、野菜、果樹などの農作物を生産する上で重要な施肥の理論を解説し、収量や品質を向上させるための実践的な施肥技術を紹介します。	遠隔	松本 真悟 (実務家教員)	島根大学生物資源科学部
必須	農業の科学	様々な農業の環境中の動態を学ぶとともに、法律に基づく農業の適切な管理を修得する。	遠隔	栗山 弘介 (実務家教員)	島根大学生物資源科学部
必須	集落営農の現場	農業経営と地域における営農組織の役割を解説します。	遠隔	井上 憲一	島根大学生物資源科学部
必須	GAPの実践	農産物の安全性を担保する上で重要な生産工程管理について解説します。特に島根県独自の認証制度である「美味しまね認証」について詳しく紹介します。	遠隔	松本 真悟 (実務家教員) 鶴永 陽子 (実務家教員)	島根大学生物資源科学部 島根大学人間科学部
選択	有機農業の理論	間違った理解や曲解されがちな有機農業について科学的な見地から客観的な評価を行い、実践可能な方法について解説します。	遠隔	松本 真悟 (実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択	六次産業化の実践	農産物の収益性を高める六次産業化の実践例を紹介するとともに、六次産業化の成功のカギを解説します。	遠隔・対面	松本 敏一 (実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択	農産物の品質管理	農産物の栄養成分について解説します。	遠隔	鶴永 陽子 (実務家教員)	島根大学人間科学部
選択	スマート農業	特徴的な水耕栽培や様々な計測機器を用いた環境管理を通じた栽培方法を紹介します。	遠隔・対面	浅尾 俊樹 門脇 正行	島根大学生物資源科学部 島根大学生物資源科学部

必修、選択科目(必修4科目、選択2科目以上)の修了で履修証明書を島根大学より発行いたします。なお、1科目のみの受講も可能です。また、途中での追加受講も可能です。

## スケジュール

講座開講期間:2021年9月1日~2022年2月28日

- 1 受講申込(9月1日より)・授業科目選択申込  
受講申し込みはこちらから  
随時受け付け中
- 2 許可通知  
(オンデマンド用ID・パスワード発行)
- 3 受講  
(対面以外は自由な時間に)  
併せて就農体験等
- 4 授業科目  
レポート等提出
- 5 履修承認
- 6 指定時間数修了後に  
履修証明書を発行

## 受講方法

「対面形式」とある科目は、年に1、2回農場での実地授業があります。それ以外は基本的にオンデマンド(遠隔)形式による受講となります。

### オンデマンド(遠隔)形式

島根大学学習管理システム(Moodle)により、インターネットから遠隔での受講が可能です。質問等も受けることが可能な双方向のシステムです。



### 対面形式

島根大学生物資源科学部附属本庄総合農場で、農業機械操作等教員と共に実際の農業に触れていただきます。



※写真・イラストはイメージです。

# 島根大学、島根県、各種農林業支援団体のコンソーシアムで 島根県内での農林業就業までをしっかりと支援!

文部科学省  
令和3年度「DX等成長分野を中心とした就職・転職支援のためのリカレント教育推進事業」採択事業

## 島根大学

# 農林業就業希望者支援 リカレント教育プログラム

講座開講期間 / 2022年9月1日～2023年2月28日

### ●公益財団法人しまね農業振興公社

島根県で農業を始めたい方の相談窓口として、就農情報の提供から、現地での体験、研修、就農へとスムーズに進めるようにさまざまな支援を行っています。就農情報は「しまね就農支援サイト」からも配信しています。

- 〈しまね就農支援サイト〉
- 就農へのロードマップ
  - 就農パッケージ
  - オンライン産地ツアー
  - 就農相談会の開催(参加)計画
  - オンライン就農相談
  - 農業体験プログラム
  - 農業法人等の求人情報 ほか

**お問合せ** 公益財団法人しまね農業振興公社  
島根県松江市黒田町432-1  
TEL0852-20-2872



### ●公益財団法人ふるさと島根定住財団

Uターンしまね産業体験助成  
島根県にUターン・Iターンし、農業・林業・漁業・介護・伝統工芸等の産業を体験する場合に滞在に要する経費の一部を助成する制度です。

- 対象:県外在住のUターン・Iターン希望者
- 対象業種:農業・林業・漁業・介護・伝統工芸等
- 助成期間:3か月以上1年以内 ※伝統工芸は2年以内
- 体験者助成額:12万円/月 ※ただし、以下の場合は6万円/月
  - ①県内に居住する父母または祖父母と同居の場合
  - ②二親等以内の親族が受入先となり体験を行う場合
  - ③伝統工芸の2年目
- 親子連れ助成額:3万円/月(中学生以下・1世帯につき)  
※助成金は3か月ごとの支給となります。

「しまね移住情報ポータルサイト」にて産業体験の制度概要をはじめ、支援の流れ等をわかりやすく解説しています。



**お問合せ・相談窓口** 公益財団法人ふるさと島根定住財団  
出雲・隠岐地方 TEL0852-28-0690  
石見地方 TEL0855-25-1600



### ●島根県立農林大学校

#### 農業科 短期養成コース

「卒業後に島根県内で就農見込みの方」向けの自営就農を目標とした研修・技術習得を行います。就農のための準備も関係機関と連携しサポートします。

- 〈特徴〉
- 農業経営者に必要な知識・技術が短期間で身につく
  - 卒業後の就農ビジョンをもって入学するので、研修～就農までのプランが明確!
  - 入学生に応じたカスタム型のカリキュラム

**お問合せ** 島根県立農林大学校  
島根県大田市波根町970-1 TEL0854-85-7012

#### 林業科 早期養成コース

実践を想定した実習やフィールドワーク主体のカリキュラムにより、林業現場において即戦力となる人材を養成します。

- 〈特徴〉
- 林業の現場に必要な知識・技術を集中的に身につける。
  - 林業現場に必要な免許・資格が取得できる。
  - 林業事業体でのインターンシップ(約3ヶ月)

**お問合せ** 島根県立農林大学校林業科  
島根県飯石郡飯南町上来島1207 TEL0854-76-2100

### ●公益社団法人 島根県林業公社

島根県林業公社内に林業労働力確保支援センターを設置し、県内林業事業体への就業をトータル的に支援しています。林業への就業を希望される方を対象とした、就業相談、各種情報提供、研修会の実施、資格取得の支援等を行っています。詳しくは、同センターのホームページをご覧ください。

- 〈主な支援活動〉
- オンライン相談(随時対応)
  - 森林の仕事ガイド(東京・名古屋・大阪・福岡・出雲)
  - 林業体験研修(10日間)【資格取得:チェーンソー・刈払機・小型車輛系機械】
  - 林業体験研修(5日間)【資格取得:チェーンソー・刈払機】
  - 林業就業促進資金の貸し付け(無利子、償還免除制度あり)

**お問合せ** 島根県林業公社  
林業労働力確保支援センター  
島根県松江市黒田町432-1  
TEL0852-32-0253

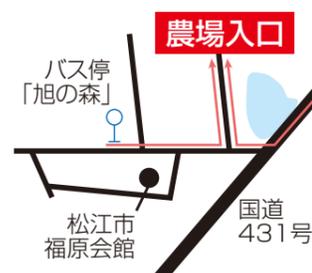


お問い合わせ先

## 島根大学 生物資源科学部本庄総合農場

島根県松江市上本庄町2059  
TEL:0852-34-0311  
FAX:0852-34-1823  
E-mail:lif-honjo@office.shimane-u.ac.jp

**松江市からバスで**  
一畑バス「美保関ターミナル」行き  
旭の森(ひのもり)停留所下車。  
農場入口まで徒歩5分、  
主会場まで約15分。



**松江市内から車で**  
●川津ICから農場入口まで  
約3.5km、約10分。  
●島根大学から農場入口まで  
約6km、約15分。

受講生  
募集

受講料  
無料

定員  
50名

申込メ  
切  
随時  
受付

対象者

- 島根県において農林業の自営就業および農業法人や各林業事業体の雇用就業を目指す方(高校卒業以上で非正規雇用者、失業者、転職希望者の方)
- 農林業に関する事前の知識・学歴は問いません



島根県内での就業を希望するあなたを応援します。

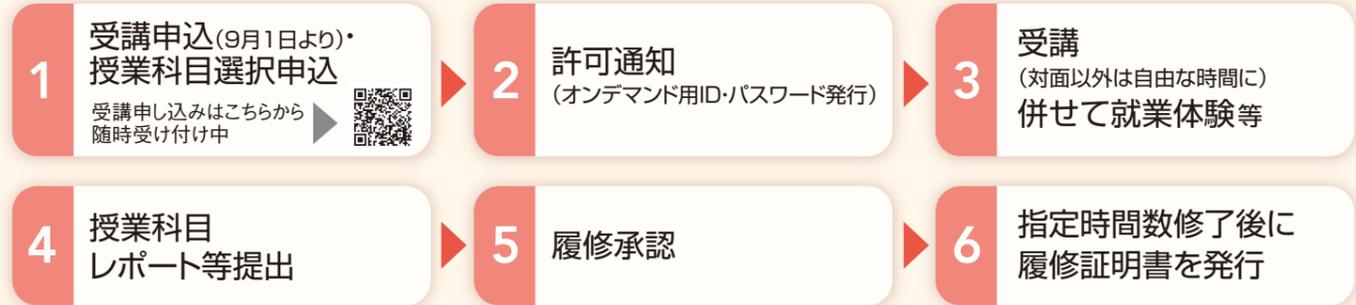
# プログラム概要

島根県、農林大学校、JAしまね、しまね農業振興公社、島根県林業公社、ふるさと島根定住財団等を通じて本プログラムの受講生を募り、就業支援基礎教育コースでは土壌肥料、病虫害防除、農業経営および森林学などに関する講義をオンデマンド中心に実施します。さらに、作物、野菜および果樹の栽培系と林業の講義を中心として各2か月に1回程度、大学農場と演習林を活用した実習または対面講義(双方向同期化オンラインを含む)を行います。



## スケジュール

講座開講期間:2022年9月1日~2023年2月28日



## 受講方法

「対面形式」とある科目は、年に1、2回農場及び演習林で実地授業があります。それ以外は基本的にオンデマンド(遠隔)形式による受講となります。

### オンデマンド(遠隔)形式

島根大学学習管理システム(Moodle)により、インターネットから遠隔での受講が可能です。質問等も受けることが可能な双方向のシステムです。



### 対面形式

島根大学生物資源科学部附属本庄総合農場及び三瓶演習林で、専門的な実習を行います。



※写真・イラストはイメージです。

# 授業科目一覧

## ■基礎コース

1科目から、どなたでも受講可能です。

分類	科目名	内容	授業時数	受講方法	担当教員・実務家名	所属
選択必修1	土壌肥料の基礎	農耕地土壌の特徴と肥培管理の留意点を解説します。また様々な肥料の特性と施肥に関する基礎知識を解説します。	6	遠隔	松本 真悟(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修1	病虫害防除の基礎	作物栽培における病虫害防除の注意点と対策を紹介するとともに適切な農業の使用方法についても解説します。	6	遠隔	上野 誠	島根大学生物資源科学部
選択必修1	虫害防除の基礎	害虫による農作物の障害を紹介するとともに、その防除技術について解説します。	6	遠隔	泉 洋平(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修1	農業経営の基礎	農業経営を行う上において知っておきたい基礎的な知識を解説するとともに、集落営農や営農法人の在り方について紹介します。	6	遠隔	井上 憲一(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修2	野菜花卉栽培の基礎	基本的な野菜・花丹栽培技術を解説します。	10	対面・遠隔	浅尾 俊樹 田中 秀幸	島根大学生物資源科学部
選択必修2	果樹栽培の基礎	果樹栽培を行うための様々な果樹の生理生態について解説するとともに、栽培技術を紹介します。	10	対面・遠隔	松本 敏一(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修2	水稲栽培の基礎	水稲栽培を行う上での基本的な栽培技術を紹介します。さらにコメの品質を高めるための肥培管理について解説します。	10	対面・遠隔	氏家 和広(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修2	畑作物栽培の基礎	ダイズやアズキなどの豆類およびサツマイモを中心としたイモ類の基本的な栽培技術を解説します。	10	対面・遠隔	門脇 正行 城 惣吉	島根大学生物資源科学部
選択必修2	森林学の基礎	森林管理の基本となる森林の立地環境に関する基礎的知識を習得します。	10	遠隔	山下 多間 橋本 哲	島根大学生物資源科学部
選択	実習:果樹	果樹栽培に必要な作業と方法について実習を通じて学習します。	6	対面・遠隔	松本 敏一(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択	実習:野菜	野菜栽培に必要な作業と方法について実習を通じて学習します。	6	対面・遠隔	田中 秀幸	島根大学生物資源科学部
選択	実習:畑作物	芋や豆等の畑作物栽培に必要な作業と方法について実習を通じて学習します。	6	対面・遠隔	門脇 正行 城 惣吉	島根大学生物資源科学部
選択	実習:育林作業	森林管理に必要な作業について基本的な事項を実習を通じて学習します。	6	対面	山下 多間 森林科学部門技術室	島根大学生物資源科学部

## ■発展コース

正規履修の方が対象となります。

分類	科目名	内容	授業時数	受講方法	担当教員・実務家名	所属
選択必修3	施肥設計の実践	水稲、野菜、果樹などの農作物を生産する上で重要な施肥の理論を解説し、収量や品質を向上させるための実践的な施肥技術を紹介します。	6	対面・遠隔	松本 真悟(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修3	農業の科学	様々な農業の環境中の動態を学ぶとともに法律に基づく農業の適切な管理を修得する。	6	遠隔	巢山 弘介(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修3	集落営農の現場	営農組織の役割を解説します。	6	遠隔	井上 憲一(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修3	GAPの実践	農産物の安全性を担保する上で重要な生産工程管理について解説します。特に島根県独自の認証制度である「美味しまね認証」について詳しく紹介します。	6	遠隔	松本 真悟(実務家教員) 鶴永 陽子(実務家教員)	島根大学生物資源科学部 島根大学人間科学部
選択必修4	有機農業の理論	間違った理解や曲解されがちな有機農業について科学的な見地から客観的な評価を行い、実践可能な方法について解説。	10	遠隔	松本 真悟(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択必修4	六次産業化の実践	農産物の収益性を高める六次産業化の実践例を紹介するとともに、六次産業化の成功のカギを解説します。	10	対面・遠隔	松本 敏一(実務家教員) 外部講師(実務家教員)	島根大学生物資源科学部 学外
選択必修4	農産物の品質管理	農産物の栄養成分について解説します。	10	遠隔	鶴永 陽子(実務家教員)	島根大学人間科学部
選択	機能性食品開発	植物の機能性と加工食品開発について学びます。	10	遠隔	室田 佳恵子・池浦 博美 吉清 恵介	島根大学生物資源科学部
選択	スマート農林業・地域農林業DX	特徴的な水耕栽培や様々な計測機器を用いた環境管理を通じた栽培方法を紹介します。	10	対面・遠隔	浅尾 俊樹・門脇 正行 松本 真悟・米 康充 (実務家教員)	島根大学生物資源科学部 島根大学総合理工学部
選択	森林資源管理学	人工林の資源管理方法を習得します。	10	遠隔	高橋 絵里奈	島根大学生物資源科学部
選択	実習:DX農林業	ITやDX農林業について実習を通じて学習します。	6	対面・遠隔	松本 真悟(実務家教員) 米 康充(実務家教員)	島根大学生物資源科学部
選択	現場見学・体験	実際の現場を訪問し、話を聞いたり体験する機会を持ちます。	6	対面	松本 敏一(実務家教員) 山下 多間・門脇 正行	島根大学生物資源科学部

※基本コースの選択必修1と2のうち各2科目を含む50時間以上の科目を履修すると発展コースに進むことができ、さらに発展コースの選択必修3と4のうち各2科目を含む40時間以上の科目を履修すると本コース修了となります。  
※部分受講生及び履修証明書の発行を希望されない場合、科目の選択は自由です。また、科目は後からでも追加受講可能です。

令和4年度（秋季入学）

## 島根大学大学院自然科学研究科

社会人キャリアアップノンディグリープログラム  
（社会人の学び直しプログラム）

### 受講生募集要項

島 根 大 学  
大学院自然科学研究科  
（博士前期課程・後期課程）

## 制度概要

平成 19 年の学校教育法の改正により、大学、大学院、短期大学、高等専門学校、専門学校(以下「大学等」という。)における「履修証明制度」が創設され、12 月 26 日より施行されました。

大学等においては、これまでも科目等履修生制度や公開講座等を活用して、その教育研究成果を社会へ提供する取組が行われてきたところですが、より積極的な社会貢献を促進するため、学生を対象とする学位プログラムの他に、社会人等の学生以外の者を対象とした一定のまとまりのある学習プログラム(履修証明プログラム)を開設し、その修了者に対して法に基づく履修証明書(Certificate)を交付できることとしました(法第 105 条等)。

制度の詳細は学校教育法施行規則(第 164 条等)や施行通知など、関係資料をご覧ください。

文部科学省としては、各大学等においてこの制度を活用し、社会人等の多様なニーズに応じた様々な分野の学習機会が積極的に提供されることを期待しています。

また、履修証明プログラムを各種資格の取得と結び付けるなど、目的・内容に応じて職能団体や地方公共団体、企業等と連携した取組も期待しており、この履修証明制度は、教育機関等における学習成果を職業キャリア形成に活かす観点から、現在政府全体で検討・推進している「ジョブ・カード制度」においても、「職業能力証明書(ジョブ・カード・コア)(※ジョブ・カード制度総合サイト

<https://jobcard.mhlw.go.jp/index.html>)」として位置付けられています。

## プログラムの趣旨・目的

近年の自然科学系分野における知識・技術の進展はめざましく、社会の発展は先端科学技術に牽引されています。地域産業や地域社会で活躍する社会人にとって、先端的科学技術の知識修得は以前にも増して重要となってきました。このため本研究科は、社会人を対象として、最新の知識・技術や最先端のトピックスなど、先端的な科学技術内容を修得していただき、社会人キャリアステップアップの基礎としていただくため、比較的容易に参加していただける社会人の学び直しプログラムを開設いたします。本プログラムは、経費負担の少ない短期のノンディグリーコース（学位取得を目的としないコース）です。新たな知識・技術の修得または理解のむずかしい理論・技術の学び直しに意欲のある社会人を募集します。

## プログラムの内容

本研究科の学術分野は、理学系、工学系、農生命系、環境系が総合・融合・一体化した10領域（数理科学、知能情報デザイン学、物理・応用物理学、機械・電気電子工学、地球科学、環境共生科学、物質化学、建築デザイン学、生命科学、農林生産学）からなっています。

### 自然科学研究科博士前期課程

本プログラムは、研究科の10領域を基礎とした次の2つのコースを開設します。

- ① 「先端自然科学基礎コース」 先端的自然科学の基礎を修得する。1つの分野を基礎として関連する基礎的知識と応用的知識を修得したい社会人を対象とする。
- ② 「先端自然科学発展・課題探究コース」 特定の専門領域を選択し、先端的な知識・技術を深く修得する。特別研究等の一部またはPBL (Problem/Project-Based Learning : 実践教育プロジェクト) 授業等に参加して、研究現場・企業現場等の課題探求・問題解決方法を学ぶ。研究課題と密接に関わり、研究能力・課題解決能力の向上を図りたい社会人を対象とする。

### 自然科学研究科博士後期課程

本プログラムは、農林生産学を除く9領域を基礎とした次の1つのコースを開設します。

「先端自然科学高度発展・課題探究コース」 特定の専門領域を選択し、先端的な知識・技術をさらに深く修得する。実践教育科目、専門科目、論文研究、特別セミナーの授業等に参加して、課題探求・問題解決方法を学ぶ。研究課題と密接に関わり、研究能力・課題解決能力の向上をさらに図りたい社会人を対象とする。

本プログラム修了者には履修証明書を授与します。

コースの選択及び受講科目の選定にあたっては、応募に際して提出された志望理由書及びインタビュー（メール及び面接等による）をもとに、履修生の要望にマッチした指導教員を島根大学大学院自然科学研究科所属の教員から選任し、履修生の希望を考慮しながらコース内のメニューの選定を指導します（希望する指導教員がいる場合にはその旨を志望理由書にお書きください）。受講可能な曜日・時間帯が限られている方については、インタビューの中で受講可能な科目の相談をさせていただきます。

プログラムの基礎となる各領域の特徴は以下のとおりです。

#### ○数理科学

数理基幹分野に関する代数学・幾何学・位相数学・常微分方程式論・関数微分方程式論・複素解析学、及び数理展開分野に関する偏微分方程式論・最適化理論・数理統計学・エルゴ

ード理論・現象数理学・数理生物学・関数方程式論・力学系理論などの教育・研究を行っています。

#### ○知能情報デザイン学

コンピュータサイエンス、情報システム開発技術、情報数学を基盤とし、データサイエンス・知能コンピューティングといった知識発見や知能情報処理、及びソフトウェア・ハードウェア・ネットワーク技術を含む情報システムの構築・運用のための手法や技術を教育・研究しています。

#### ○物理・応用物理学

物理学及びその学際領域の基礎知識を基に、新しい材料やデバイスの開発、物質のミクロ構造解析、物質機能のメカニズムの解明、粒子多体系としての物質の理論的解明、物質の根源である素粒子の研究などの教育・研究を行っています。

#### ○機械・電気電子工学

機械工学、電気電子工学にかかわる高度な専門教育と、先進材料や柔軟構造の力学解析と設計、機械系の制振・搬送制御や非線形制御、音響振動計測、産業ロボット用歯車装置の設計・解析、移動ロボットや搬送台車の制振搬送制御、乗り物やエンジンの流体設計、共振現象の解析と振動の低減、電磁波によるリモートセンシング、光ファイバ通信、光センシング技術、光応用計測、生体信号処理、ヒューマンインタフェース、福祉情報システムの開発などの研究を行っています。

#### ○地球科学

地質学を基礎としつつ、工学的分野を含めた学際的見地から、地球を構成する岩石・鉱物の理解と地球資源の成因の探求、人類・生物・地球の密接な相互作用の解明、地球史と地球環境の理解、そして自然災害の発生メカニズムの解明と防災・減災手法の構築に関する教育・研究を行っています。

#### ○環境共生科学

自然と人間が真に共生する豊かな21世紀型社会の実現に向けて、生活環境、生産環境及び自然環境を構成する様々な資源（水、大気、土壌、エネルギー、施設、情報、動物、植物、微生物等）に関する教育・研究を行っています。

#### ○物質化学

化学系の理学及び工学分野から構成されており、人類に有用な物質の創製、高効率で環境負荷の少ない物質・エネルギー変換技術の開発、物質の機能の合理的理解、原子・分子レベルでの物質のしくみの解明などの教育・研究を行っています。

#### ○建築デザイン学

建築は居住者にとって安全で美しく快適な空間を提供することが求められています。さらに近年では、自然環境を取り込んだ文化・環境の持続可能性に寄与する取り組みも欠かせません。ここ松江は松江城を中心とした歴史的な町並み、県庁などのモダンイズム建築群、宍道湖や島根半島の自然景観が調和した国際文化観光都市です。建築デザイン学では、伝統的な木造建築から現代建築まで、理論・計画デザイン・環境・構法・構造を幅広く学ぶと共に、その知識を高め応用する研究を行っています。

#### ○生命科学

生物学に基礎をおく生物科学分野と生物学及び化学に基礎をおく生命工学分野から構成

されており、生命分子の構造や性質を解き明かし、また生命現象における遺伝子発現や細胞・個体レベルでの様々な協調作用や階層構造を明らかにすることで、生命現象の原理を追究するとともに、明らかになった分子機能や生命原理を社会の健全な発展に向けて応用することを旨とし、教育・研究を行っています。

#### ○農林生産学

資源作物・畜産学，園芸植物科学，農業経済学，森林学の4分野からなり，農学，林学及び学際領域の知識と技術をもとに，農業生産，農業経済，林業生産，森林資源管理，六次産業化，地域振興など，農林業・食料・環境・農山村の課題解決に関する教育・研究を行っています。

#### 1. 募集人員

自然科学研究科博士前期課程 若干名

自然科学研究科博士後期課程 若干名

#### 2. 履修資格

新たな知識・技術の修得または自学では理解のむずかしい理論・技術の学び直しに意欲をもち、地域産業や地域社会で活動する社会人で、本プログラムに興味を持ってスキルアップを目指す人。

(下記履修資格表のとおり 別紙1：博士前期課程，別紙2：博士後期課程)

ただし、希望する教育内容によっては、指導体制の関係から受け入れられない場合があります。

#### 3. 履修内容

##### 自然科学研究科博士前期課程

##### ①「先端自然科学基礎コース」(1科目+講演等：実時間60時間以上)

自然科学研究科で開講する科目から1科目以上を選択し、さらに、必要があれば指定された講演会等に出席する。

##### ②「先端自然科学発展・課題探究コース」(2科目+講演等：実時間60時間以上)

自然科学研究科で開講する研究科共通科目，セミナー，特別研究から1科目以上，専門科目から1科目以上を選択し、さらに、必要があれば指定された講演会等に出席する。

##### 自然科学研究科博士後期課程

##### 「先端自然科学高度発展・課題探求コース」(2科目+講演等：実時間60時間以上)

研究的課題を探究する実践教育科目，専門科目，論文研究，特別セミナーから2科目を選択し、さらに必要があれば、指定された講演会・セミナー等に出席する。

履修時間は合計で60時間を超えるように履修指導が行われる。この時間数は、学校教育法施行規則第164条第2項に定める総時間数60時間以上を満たすものである。

#### 4. 履修期間

令和4年10月1日から令和5年9月30日まで (1年間)

#### 5. 受講料 60,000円

合格者には、後日、受講料納付手続きに関する文書をお送りします。

## 6. 申請手続

### (1) 申請方法

志願者は、(3)の申請書類等を取りそろえて(4)に提出してください。郵送する場合は、「簡易書留」郵便とし、封筒に「自然科学研究科社会人キャリアアップノンディグリープログラム申請書類在中」と朱書きしてください。

### (2) 申請期間

令和4年6月20日(月)から7月1日(金)までの土曜日・日曜日及び祝日を除く毎日午前9時から午後5時まで(郵送の場合も7月1日(金)午後5時までに必着)。

### (3) 申請書類等

提出書類等	摘 要
① 志願書	本研究科所定の用紙を使用し作成したもの
② 履歴書	本研究科所定の用紙を使用し、写真1枚を貼付したもの
③ 志望理由書	本研究科所定の用紙を使用し、志望動機及び理由を記入してください。別紙の担当教員一覧を参考に、希望する指導教員があればお書きください。
④ 推薦書(任意)	企業等の推薦により、受講希望する場合には、任意様式で推薦書を提出してください。(個人で申請する場合は、必要ありません。)
⑤ 卒業証明書	最終出身校の卒業証明書または修了証明書
⑥ 返信用封筒	履修の許可、不許可の通知のため、申請者の郵便番号、住所、氏名を記入し、郵便切手84円分を貼った長形3号(12cm×23.5cm)のもの
⑦ その他	その他研究科が必要と認める書類

### (4) 申請書類提出先

〒690-8504 松江市西川津町1060

島根大学松江地区学部等事務部学務課自然科学研究科担当(学生センター)

## 7. 選考方法

志願者の提出書類(志願書・推薦書、履歴書、志望理由書及び卒業証明書)及びインタビュー(メール及び面接等による)をもとに、専門性または実務経験から判断して選考します。

コースの選択及び履修科目の選定にあたっては、応募に際して提出された志望理由書をもとに、履修生の要望にマッチした指導教員を島根大学大学院自然科学研究科から選任し、履修生の希望を考慮しながらコース内のメニューの選定を指導します。

ただし、履修資格表博士前期課程(別紙1)の9又は10に該当する者又は履修資格表博士後期課程(別紙2)の6～8に該当する者については、書類選考の前に個別の履修資格審査を行いますので、あらかじめご了承ください。

(個別の履修資格審査に関する問い合わせ期間：令和4年6月6日(月)～令和4年6月17日(金)までの土曜日・日曜日・祝日を除く毎日午前9時から午後5時まで)

## 8. 選考結果の通知

本人に文書により通知します。(※7月下旬に発送予定)

## 9. 履修証明書の交付

本コースを修了した者には、履修証明書を交付します。  
(学校教育法第105条の規定に基づく証明書)

## 10. 問合せ先

島根大学松江地区学部等事務部学務課自然科学研究科担当 (学生センター)

Tel (0852) 32-6255 Fax (0852) 32-6059 ; E-mail ns-gakumu@office.shimane-u.ac.jp

### 個人情報の取扱い

提出された書類の氏名、住所等の個人情報については、履修者の選考、申請者への連絡のほか、教務修学事務関係、教育・研究活動関係等の業務を行うためにのみ利用します。他の目的に利用し、又は提供することはありません。

○履修資格表

博士前期課程（別紙１）

履修できる者は、次の１から10のいずれかに該当する者としてします。

No.	要件
1	大学を卒業した者
2	学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第7項の規定により学士の学位を授与された者【独立行政法人大学改革支援・学位授与機構から学位を授与された者】
3	外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
4	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
5	我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
6	外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該課程を修了すること及び当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。）により、学士の学位に相当する学位を授与された者
7	専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
8	文部科学大臣が指定した者（昭和28年文部省告示第5号） 【文部科学大臣の指定による、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者とは次の者をいいます。旧大学令による大学、旧高等師範学校・学校専攻科、高等師範学校・女子高等師範学校、防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、職業訓練大学校、気象大学校などの卒業（修了）者】
9	学校教育法（昭和22年法律第26号）第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学において認定試験を行い、本学大学院における教育を受けるにふさわしい学力があると認められたもの
10	本学の大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

注）履修資格9又は10により志願をしようとする者については、令和4年6月6日（月）～令和4年6月17日（金）までの土曜日・日曜日・祝日を除く毎日午前9時から午後5時まで、下記に問い合わせてください。

島根大学松江地区学部等事務部学務課自然科学研究科担当（学生センター）

TEL (0852) 32-6255 Fax (0852) 32-6059 ; E-mail ns-gakumu@office.shimane-u.ac.jp

## 博士後期課程（別紙2）

履修できる者は、次の1から8のいずれかに該当する者とします。

No.	要件
1	修士の学位を有する者
2	外国において修士の学位に相当する学位を授与された者
3	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修し、修士の学位に相当する学位を授与された者
4	我が国において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するもの当該課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
5	国際連合大学本部に関する国際連合と日本国との間の協定の実施に伴う特別措置法（昭和51年法律第72号）第1条第2項に規定する1972年12月11日の国際連合総会決議に基づき設立された国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者
6	外国の学校、第4号の指定を受けた教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、大学院設置基準（昭和49年文部省令第28号）第16条の2に規定する試験及び審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者
7	文部科学大臣が指定した者 【大学を卒業し、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者 外国において学校教育において16年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した後、大学、研究所等において、2年以上研究に従事した者で、本研究科において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者】
8	本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、24歳に達した者

注) 履修資格6～8により志願をしようとする者については、令和4年6月6日（月）～令和4年6月17日（金）までの土曜日・日曜日・祝日を除く毎日午前9時から午後5時まで、下記に問い合わせてください。

島根大学松江地区学部等事務部学務課自然科学研究科担当（学生センター）

TEL (0852) 32-6255 Fax (0852) 32-6059 ; E-mail ns-gakumu@office.shimane-u.ac.jp

## (別紙3)

## ○担当教員一覧

## 数理科学領域

担当教員			主な研究内容
1	教授	中西 敏浩	複素解析学 <a href="https://www.math.shimane-u.ac.jp/">https://www.math.shimane-u.ac.jp/</a>
2	教授	植田 玲	環論 <a href="https://www.math.shimane-u.ac.jp/">https://www.math.shimane-u.ac.jp/</a>
3	教授	黒岩 大史	最適化理論 <a href="https://www.math.shimane-u.ac.jp/">https://www.math.shimane-u.ac.jp/</a>
4	教授	和田 健志	偏微分方程式論 <a href="https://www.math.shimane-u.ac.jp/">https://www.math.shimane-u.ac.jp/</a>
5	教授	山田 拓身	微分幾何学 <a href="https://www.math.shimane-u.ac.jp/">https://www.math.shimane-u.ac.jp/</a>
6	教授	青木 美穂	数論 <a href="https://www.math.shimane-u.ac.jp/~aoki/index.html">https://www.math.shimane-u.ac.jp/~aoki/index.html</a>
7	准教授	齋藤 保久	関数方程式論, 数理生物学, 現象数理学 <a href="https://www.math.shimane-u.ac.jp/">https://www.math.shimane-u.ac.jp/</a>
8	准教授	松橋 英市	位相数学及び幾何学的位相数学 <a href="https://www.math.shimane-u.ac.jp/">https://www.math.shimane-u.ac.jp/</a>
9	准教授	山田 隆行	数理統計学 <a href="https://www.math.shimane-u.ac.jp/">https://www.math.shimane-u.ac.jp/</a>
10	講師	Szollosi Ferenc	組合せ論 <a href="https://www.math.shimane-u.ac.jp/~szollosi">https://www.math.shimane-u.ac.jp/~szollosi</a>
11	講師	Gavrilyuk Alexander	組合せ論及び離散数学 <a href="https://www.math.shimane-u.ac.jp/">https://www.math.shimane-u.ac.jp/</a>
12	助教	鈴木 聡	非線形解析学及び数理最適化 <a href="https://www.math.shimane-u.ac.jp/~suzuki/">https://www.math.shimane-u.ac.jp/~suzuki/</a>
13	助教	山田 大貴	離散幾何学, グラフ理論 <a href="https://sites.google.com/view/taikiyamada">https://sites.google.com/view/taikiyamada</a>

## 知能情報デザイン学領域

担当教員			主な研究内容
1	教授	坂野 鋭	データ工学, 統計科学 <a href="http://www.cis.shimane-u.ac.jp">http://www.cis.shimane-u.ac.jp</a>
2	教授	神谷 年洋	ソフトウェア工学, プログラム解析 <a href="http://toshihirokamiya.com">http://toshihirokamiya.com</a>
3	教授	神崎 映光	センサーネットワーク, モバイルネットワーク <a href="http://www.cis.shimane-u.ac.jp">http://www.cis.shimane-u.ac.jp</a>
4	教授	廣富 哲也	福祉情報工学 <a href="http://www.cis.shimane-u.ac.jp">http://www.cis.shimane-u.ac.jp</a>
5	准教授	岩見 宗弘	項書換えシステム, 定理自動証明 <a href="http://www.cis.shimane-u.ac.jp">http://www.cis.shimane-u.ac.jp</a>
6	助教	山田 泰寛	情報検索 <a href="http://www.cis.shimane-u.ac.jp">http://www.cis.shimane-u.ac.jp</a>
7	助教	白井 匡人	データ工学, 機械学習 <a href="http://www.cis.shimane-u.ac.jp">http://www.cis.shimane-u.ac.jp</a>
8	助教	酒井 達弘	データ工学, Webマイニング <a href="http://www.cis.shimane-u.ac.jp">http://www.cis.shimane-u.ac.jp</a>
9	助教	MIAN RIAZ UL HAQUE	コンピュータ演習, VLSI設計 <a href="http://www.cis.shimane-u.ac.jp">http://www.cis.shimane-u.ac.jp</a>

## 物理・応用物理学領域

担当教員			主な研究内容
1	教授	藤原 賢二	重い電子系・強相関電子系物質について, 強磁場, 極低温, 高圧下での核磁気共鳴法(NMR)を主とした電子物性研究 <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_fujiwara.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_fujiwara.html</a>

2	教授	田中 宏志	第一原理電子構造計算に基づく理論物性, 新しい計算物理的手法の開発, ならびに数理論理学 <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_tanaka.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_tanaka.html</a>
3	教授	藤田 恭久	酸化亜鉛等の化合物半導体薄膜, ナノ粒子の生成と光デバイス・ナノ医療への応用 <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_fujita.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_fujita.html</a>
4	教授	山田 容士	機能性材料, 特に, 超伝導体の単結晶と導電性薄膜の結晶成長制御と機構解明, および, 材料特性との関連に関する研究 <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_yamada.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_yamada.html</a>
5	教授	影島 博之	先進的な電子材料の物性発現機構と機能制御理論の研究 <a href="http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~kageshima/saito/Kageshima_laboratory.html">http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~kageshima/saito/Kageshima_laboratory.html</a>
6	教授	三好 清貴	強相関電子系化合物における新規物性探索・圧力誘起物性の探索 <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_miyoshi.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_miyoshi.html</a>
7	准教授	望月 真祐	素粒子論・統計基礎論(場の量子論の非摂動的な手法, ランダム行列と準位統計, 格子ゲージ場等の理論的研究) <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_mochizuki.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_mochizuki.html</a>
8	准教授	葉 文昌	マイクロレーザーを用いたガラス上半導体薄膜の単結晶成長とそのデバイス応用 <a href="http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~yeh/">http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~yeh/</a>
9	准教授	武藤 哲也	強相関電子系・量子スピン系における特異な量子状態の数値的研究, 多体問題の統計力学的研究 <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_mutou.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_mutou.html</a>
10	准教授	北川 裕之	金属間化合物, セラミックス材料の合成と熱電物性, およびこれらの応用に関する研究 <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_kitagawa.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_kitagawa.html</a>
11	准教授	本山 岳	強相関電子系化合物における物質探索および超低温環境下物性測定を主とした物性研究 <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_motoyama.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_motoyama.html</a>
12	准教授	宮本 光貴	核融合炉におけるプラズマ対向材料の表面変質に関する研究 <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_miyamoto.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_miyamoto.html</a>
13	講師	吉田 俊幸	酸化半導体微粒子層のキャリア伝導機構解明とトランジスタ応用 <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_yoshida.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_yoshida.html</a>
14	助教	Pham Hoang Anh	電子顕微鏡と量子線回折法を用いた材料組織の解析及び材料製造プロセスにおける材料組織形成に関する研究 <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_pham.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_pham.html</a>
15	助教	船木 修平	超伝導体や透明導電体などの導電材料の新規作製手法の開発, および応用に関する研究 <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_funaki.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_funaki.html</a>
16	助教	臼井 秀知	第一原理計算とモデル計算による特異な量子輸送現象の理論的研究 <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_usui.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_usui.html</a>
17	助教	真砂 全宏	核磁気共鳴法による強相関電子系, 特に超伝導や磁性, 量子臨界現象の研究 <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_manago.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_manago.html</a>
18	助教	曲 勇作	酸化半導体の低温固相成長とフレキシブルデバイス応用 <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_magari.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_magari.html</a>

機械・電気電子工学領域

担当教員			主な研究内容
1	教授	縄手 雅彦	ヒューマン情報処理とインタフェース計測, およびその福祉応用 <a href="http://www.mag.shimane-u.ac.jp/">http://www.mag.shimane-u.ac.jp/</a>
2	教授	増田 浩次	光エレクトロニクス通信技術を駆使した将来の大容量光ファイバ通信やユビキタスネットワークの研究 <a href="http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~masuda/">http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~masuda/</a>
3	教授	伊藤 文彦	レーザ, 光ファイバを用いた光センシング技術, 光デバイスの評価のための高度な計測技術の研究 <a href="http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~ito/">http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~ito/</a>
4	教授	横田 正幸	光応用計測法について, 特にデジタルホログラフィ等の干渉計測や画像解析を中心とした研究 <a href="http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~yokota/">http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~yokota/</a>
5	教授	新城 淳史	エンジンの熱流体流れや航空機・自動車の空気力学等に関する研究 <a href="http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~jshinjo/">http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~jshinjo/</a>

6	准教授	李 樹庭	航空機, 産業ロボット及び宇宙探査機用歯車装置の機械設計及び性能(強度と寿命, 振動と騒音, 潤滑と効率)解析 <a href="http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~shutingli/">http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~shutingli/</a>
7	准教授	濱口 雅史	移動ロボットや搬送台車を用いた制振搬送制御, 制振アクチュエーターの開発や福祉・介護ロボットに関する研究 <a href="http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~hamaguchi/robotics/">http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~hamaguchi/robotics/</a>
8	准教授	下舞 豊志	電磁波を用いた地球環境, 特に大気および水域のリモートセンシング技術に関する研究 <a href="http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~rsl/">http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~rsl/</a>
9	准教授	森本 卓也	やわらかい材料・しなやかな構造の力学と設計に関する研究 <a href="http://ecs.riko.shimane-u.ac.jp/~morimoto/">http://ecs.riko.shimane-u.ac.jp/~morimoto/</a>
10	准教授	荒川 弘之	少数計測による逆問題解析手法の開発および物理・医療・環境分野への応用に関する研究 <a href="https://sites.google.com/ec.s.shimane-u.ac.jp/arakawa/">https://sites.google.com/ec.s.shimane-u.ac.jp/arakawa/</a>
11	講師	田村 晋司	機械構造物の非線形動力学特性の解明および振動抑制理論に関する研究 <a href="http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~stamura/">http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~stamura/</a>
12	助教	伊藤 史人	重度障害者のためのコミュニケーション支援機器およびソフトウェアの研究 <a href="http://www.poran.net/ito/">http://www.poran.net/ito/</a>
13	助教	北村 心	光エレクトロニクス通信技術を駆使した将来の大容量光ファイバ通信やユビキタスネットワークの研究 <a href="http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~masuda/">http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~masuda/</a>
14	助教	張 超	レーザを用いた三次元計測技術や通信技術の研究 <a href="http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~ito/">http://www.ecs.shimane-u.ac.jp/~ito/</a>

#### 地球科学領域

担当教員			主な研究内容
1	教授	三瓶 良和	石油地質学, 有機地球化学 <a href="https://www.geo.shimane-u.ac.jp/">https://www.geo.shimane-u.ac.jp/</a>
2	教授	入月 俊明	古生物学, 層序学 <a href="https://www.geo.shimane-u.ac.jp/">https://www.geo.shimane-u.ac.jp/</a>
3	教授	酒井 哲弥	堆積学, 地層学 <a href="https://www.geo.shimane-u.ac.jp/">https://www.geo.shimane-u.ac.jp/</a>
4	教授	亀井 淳志	火成岩岩石学, 地球ダイナミクス, 地球化学 <a href="https://www.geo.shimane-u.ac.jp/">https://www.geo.shimane-u.ac.jp/</a>
5	教授	齋藤 文紀	沿岸域における堆積利用と環境変遷に関する研究 <a href="https://www.esrec.shimane-u.ac.jp/summary/staff/saitou.html">https://www.esrec.shimane-u.ac.jp/summary/staff/saitou.html</a>
6	准教授	瀬戸 浩二	汽水域 (エスチュアリー) の地質学・堆積学・古生物学的研究 ー地球環境変動の視点からー <a href="https://www.esrec.shimane-u.ac.jp/summary/staff/seto.html">https://www.esrec.shimane-u.ac.jp/summary/staff/seto.html</a>
7	准教授	大平 寛人	資源地質学, 地質年代学 <a href="https://www.geo.shimane-u.ac.jp/">https://www.geo.shimane-u.ac.jp/</a>
8	准教授	増本 清	水文地質学, 地質工学 <a href="https://www.geo.shimane-u.ac.jp/">https://www.geo.shimane-u.ac.jp/</a>
9	准教授	林 広樹	古生物学, 生層序学 <a href="https://www.geo.shimane-u.ac.jp/hayashi/">https://www.geo.shimane-u.ac.jp/hayashi/</a>
10	准教授	遠藤 俊祐	変成岩岩石学, 構造地質学 <a href="https://www.geo.shimane-u.ac.jp/">https://www.geo.shimane-u.ac.jp/</a>
11	准教授	向吉 秀樹	構造地質学, テクトニクス <a href="https://www.geo.shimane-u.ac.jp/mukoyoshi/">https://www.geo.shimane-u.ac.jp/mukoyoshi/</a>
12	准教授	小暮 哲也	地形学, 応用地質学 <a href="https://www.geo.shimane-u.ac.jp/nat/kogure.html">https://www.geo.shimane-u.ac.jp/nat/kogure.html</a>
13	講師	香月 興太	湖底に眠る植物微化石 ーその分布と特性を活かした環境・生態系システムの解明ー <a href="https://www.esrec.shimane-u.ac.jp/summary/staff/katsuki.html">https://www.esrec.shimane-u.ac.jp/summary/staff/katsuki.html</a>
14	講師	アンドレアス アウアー	火山学, 岩石学, 自然災害 <a href="https://www.geo.shimane-u.ac.jp/e/staff.html">https://www.geo.shimane-u.ac.jp/e/staff.html</a>
15	助教	志比 利秀	地盤工学, 連続体力学 <a href="https://www.geo.shimane-u.ac.jp/">https://www.geo.shimane-u.ac.jp/</a>

16	助教	ラクシュマナン スリハリ	構造地質学, テクトニクス <a href="https://www.geo.shimane-u.ac.jp/">https://www.geo.shimane-u.ac.jp/</a>
17	助教	シルバアンミ ニ サシダラン	鉱物学・岩石学, 地球科学 <a href="https://www.geo.shimane-u.ac.jp/">https://www.geo.shimane-u.ac.jp/</a>

環境共生科学領域

担当教員			主な研究内容
1	教授	上野 誠	植物-病原菌の相互作用における抵抗性発現に関する研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ueno.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ueno.html</a>
2	教授	喜多 威知郎	数値計画法による水利システムの解析・雨水の水資源としての有効利用 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kita.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kita.html</a>
3	教授	木原 淳一	植物病原糸状菌の光形態形成 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kiharaj.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kiharaj.html</a>
4	教授	武田 育郎	集水域における水質水文環境 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/takeda.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/takeda.html</a>
5	教授	増永 二之	土壌生態系の植物生産・環境浄化機能の強化と制御, 土-水-緑系における栄養生態学的研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/masunaga.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/masunaga.html</a>
6	教授	宮永 龍一	ハナバチ類に関する生態学的研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/miyanaga.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/miyanaga.html</a>
7	教授	矢島 啓	湖沼およびダム貯水池における生態系モデリングと水環境改善および豪雨災害に関する研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/kenkyu_shozoku/yajima.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/kenkyu_shozoku/yajima.html</a>
8	教授	谷野 章	植物環境フォトニクス <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yano.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yano.html</a>
9	教授	山口 啓子	水生生物を利用した水域環境の解析および修復 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yamaguchi.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yamaguchi.html</a>
10	教授	桑原 智之	水域環境の保全および排水・環境水の浄化に関する研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kuwabara.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kuwabara.html</a>
11	准教授	石井 将幸	水利施設の性能設計と多面的性能評価 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ishii.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ishii.html</a>
12	准教授	泉 洋平	昆虫の季節適応に関する生理・生化学的研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/izumi.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/izumi.html</a>
13	准教授	久保 満佐子	溪畔林の動態, 半自然草原の管理 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kubo.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kubo.html</a>
14	准教授	倉田 健悟	汽水域生態系と沿岸潟湖環境の生態学 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/kenkyu_shozoku/kurata.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/kenkyu_shozoku/kurata.html</a>
15	准教授	佐藤 邦明	土壌圏の生態工学的手法による, 環境修復・資源循環技術の開発 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/satok.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/satok.html</a>
16	准教授	巢山 弘介	微生物生態系に及ぼす農薬の影響評価, 農薬に関する教材の開発 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/suyama.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/suyama.html</a>
17	准教授	堀之内 正博	海草藻場やヨシ帯, マングローブ域などに生息する魚類群集の生態に関する研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/kenkyu_shozoku/horinouchi.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/kenkyu_shozoku/horinouchi.html</a>
18	准教授	山下 多聞	森林土壌の物質動態, 東南アジア熱帯多雨林の土壌環境 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yamashita.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yamashita.html</a>
19	助教	上野 和広	農業水利施設の継承と安全な農村地域の構築に向けた, 施設の維持管理手法および防災・減災手法に関する研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/uenokazuhiro.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/uenokazuhiro.html</a>
20	助教	川井田 俊	河口域の水産無脊椎動物(ベントス)の群集構造の解明 河口域のベントスがもつセルロース分解酵素の生態学的意義の解明 河口域生態系における低次生産構造および食物網構造の解明 <a href="https://www.esrec.shimane-u.ac.jp/summary/staff/kawaida.html">https://www.esrec.shimane-u.ac.jp/summary/staff/kawaida.html</a>
21	助教	金 相暉	数値モデルを用いた汽水域における水環境の保全対策の検討 <a href="https://researchmap.jp/water">https://researchmap.jp/water</a>
22	助教	佐藤 裕和	流域の一体的管理による超過洪水を前提とした治水のあり方 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/satoh.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/satoh.html</a>
23	助教	佐藤 真理	土構造物の老朽化とメンテナンスについて <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/satom.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/satom.html</a>
24	助教	清水 加耶	東南アジア熱帯雨林の節足動物群集, アリが関与する生物間相互作用 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/shimizukaya.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/shimizukaya.html</a>

25	助教	長門 豪	多環芳香族炭化水素同族体の形成と環境動態 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/nagato.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/nagato.html</a>
26	助教	林 昌平	湖やダムにおけるカビ臭生産細菌の調査, 南極の微生物の生態・生理学的研究, 微生物-微生物間・微生物-植物間の相互作用に関する研究, 細菌の農薬分解能に関する遺伝学的研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/hayashis.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/hayashis.html</a>
27	助教	深田 耕太郎	音響測定法を利用した土壌の通気メカニズムに関する研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/fukada.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/fukada.html</a>
28	助教	藤巻 玲路	森林生態系の物質生産, 物質循環 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/fujimaki.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/fujimaki.html</a>
29	助教	吉岡 秀和	環境数理 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yoshiokah.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yoshiokah.html</a>
30	助教	吉岡 有美	流域スケールでの地下水環境評価 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yoshiokayumi.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yoshiokayumi.html</a>
31	助教	李 治	太陽光発電・電気技術を活用した農業施設の環境制御システムの開発 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/li.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/li.html</a>
32	助教	橋口 亜由未	UV-LEDによる微生物制御, 新しい排水水処理技術の開発 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/hashiguchi.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/hashiguchi.html</a>

物質化学領域

担当教員			主な研究内容
1	教授	小俣 光司	数理的なモデルを用いた有機資源創製および環境浄化のための触媒設計 <a href="http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html">http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html</a>
2	教授	半田 真	新規フタロシアン及び金属結合を含むポリマー錯体の合成 <a href="http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html">http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html</a>
3	教授	西垣内 寛	光を用いた有機合成・選択的有機金属反応 <a href="http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html">http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html</a>
4	教授	吉原 浩	木材および木質材料の力学特性の実験的評価 <a href="http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/">http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/</a>
5	教授	山口 勲	機能性高分子の合成と物性評価および応用 <a href="http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html">http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html</a>
6	教授	宮崎 英敏	環境調和型セラミックス・コンポジットの合成と評価 <a href="http://miya743.wixsite.com/miyazaki">http://miya743.wixsite.com/miyazaki</a>
7	教授	田中 秀和	機能性無機酸化物粒子の合成及び表面・粒子設計による高機能化 <a href="http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/imchem/">http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/imchem/</a>
8	教授	笹井 亮	層状無機化合物の2次元ナノ空間を用いた機能性材料創製と環境・エネルギー・資源分野への応用 <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_sasai.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_sasai.html</a>
9	准教授	吉延 匡弘	木質系バイオマス残廃材の再資源化。リグノセルロースの化学修飾による機能化。和紙の特性評価および製造技術伝承。 <a href="http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/">http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/</a>
10	准教授	辻 剛志	新規光化学・レーザープロセスを用いたナノ材料の作製と生成メカニズムの解明 <a href="http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/physchem-ii/">http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/physchem-ii/</a>
11	准教授	加藤 定信	未利用木質資源を用いた次世代持続型農法の開発 <a href="http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/">http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/</a>
12	准教授	久保田 岳志	触媒表面化学 <a href="http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html">http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html</a>
13	准教授	池上 崇久	特異な電子状態を有するポルフィリノイド金属錯体の合成と解明 <a href="http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/ikeue/index.html">http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/ikeue/index.html</a>
14	准教授	中田 健也	触媒的不斉合成の開発および生理活性物質への応用 <a href="http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/yuuki_lab/">http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/yuuki_lab/</a>
15	准教授	飯田 拡基	機能性有機及び高分子化合物の創製と環境調和型物質変換プロセスへの応用 <a href="http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/fmchem/index.html">http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/fmchem/index.html</a>
16	准教授	新 大軌	社会環境材料, 低炭素・資源循環型社会構築のための無機環境材料の材料設計・開発 <a href="http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html">http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html</a>
17	講師	鈴木 優章	新奇な芳香族化合物の構造有機化学と機能解明 <a href="http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html#orgchem1">http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html#orgchem1</a>

18	講師	管原 庄吾	汽水域における硫化水素の生成挙動に関する研究 <a href="http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/environmental-anal-chem/">http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/environmental-anal-chem/</a>
19	助教	片岡 祐介	水素生成を目的とする人工光合成システム及び特殊な磁気特性を有する多核金属錯体の開発 <a href="http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html">http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html</a>
20	助教	藤村 卓也	二次元空間を利用した分子集合体の合成と光機能性材料の開発 <a href="http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_fujimura.html">http://www.phys.shimane-u.ac.jp/staff/staff_fujimura.html</a>
21	助教	牧之瀬 佑旗	溶液プロセスを用いたナノサイズセラミックスの作製と評価 <a href="http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html">http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html</a>
22	助教	王 傲寒	自然由来物質を利用した新しい高分子および複合材料の開発 <a href="http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html">http://www.chem.shimane-u.ac.jp/research.html</a>
23	助教	朴 紫暎	環境水中での溶存ケイ酸の地球化学的動態 <a href="http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/environmental-anal-chem/">http://www.ipc.shimane-u.ac.jp/environmental-anal-chem/</a>

#### 建築デザイン学領域

担当教員			主な研究内容
1	教授	中村 豊	免震・制振構造, 地震工学 <a href="http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/">http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/</a>
2	教授	千代 章一郎	建築美学, 歴史都市空間論 <a href="http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/">http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/</a>
3	教授	澤田 樹一郎	最小重量設計, 最適設計, 地震応答, 腐食 <a href="http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/">http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/</a>
4	教授	細田 智久	建築計画, 建築デザイン <a href="http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/">http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/</a>
5	准教授	小林 久高	木造構法, 古民家再生 <a href="http://kobayashi-lab.info/">http://kobayashi-lab.info/</a>
6	准教授	清水 貴史	建築・住環境デザイン, 音響学, 環境心理・生理, 信号処理 <a href="http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/">http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/</a>
7	助教	NGUYEN THU LAN	騒音制御, 環境政策 <a href="http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/">http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/</a>
8	助教	三島 幸子	建築計画 <a href="http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/">http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/</a>
9	助教	井上 亮	景観, 都市計画, 建築・都市デザイン <a href="http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/">http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/</a>
10	助教	小松 真吾	耐震構造, 建物振動, 非構造材 <a href="http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/">http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/</a>
11	助教	NGUYEN TRAN Y. Khang	都市環境, パッシブデザイン, 風環境, 視環境 <a href="http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/">http://kenchiku-seisan.jp/publics/index/33/</a>

#### 生命科学領域

担当教員			主な研究内容
1	教授	赤間 一仁	植物における tRNA の発現制御機構と $\gamma$ -アミノ酪酸 (GABA) の生理機能の解明 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/akama.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/akama.html</a>
2	教授	荒西 太士	水圏生物資源の進化、生態および保全に関する分子遺伝学的研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/kenkyu_shozoku/aranishi.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/kenkyu_shozoku/aranishi.html</a>
3	教授	石川 孝博	植物および微細藻類におけるアスコルビン酸の代謝調節機構と生理機能に関する研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ishikawa.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ishikawa.html</a>
4	教授	川向 誠	酵母の分子遺伝学と応用 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kawamukai.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kawamukai.html</a>
5	教授	塩月 孝博	昆虫を主な対象とする生物制御の分子機構解明と化学生物学的応用 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/shiotsuki.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/shiotsuki.html</a>
6	教授	清水 英寿	食品由来腸内細菌代謝産物や藍藻類由来毒素による病態発症メカニズムの解明 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/shimizu.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/shimizu.html</a>

7	教授	中川 強	植物の成長と発達を制御する遺伝子の機能解明 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/kenkyu_shozoku/nakagawa.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/kenkyu_shozoku/nakagawa.html</a>
8	教授	西川 彰男	両生類の筋形成および指間細胞死機構 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/nishikawa.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/nishikawa.html</a>
9	教授	広橋 教貴	海産無脊椎動物の繁殖生理学 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/hirohashi.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/hirohashi.html</a>
10	教授	松崎 貴	毛の形成および毛周期の調節機構 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/matsuzaki.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/matsuzaki.html</a>
11	教授	山本 達之	ラマン分光法の医生物応用 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yamamoto.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yamamoto.html</a>
13	教授	丸田 隆典	植物のレドックス制御とストレス応答 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/maruta.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/maruta.html</a>
14	教授	室田 佳恵子	脂溶性機能性食品成分の生体利用性の解明 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/murota.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/murota.html</a>
15	准教授	池田 泉	生理活性物質の分子設計と合成 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ikeda.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ikeda.html</a>
16	准教授	石田 秀樹	原生動物の細胞運動機構 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ishiida.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ishiida.html</a>
17	准教授	小川 貴央	植物における補酵素の代謝と調節機構 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ogawa.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ogawa.html</a>
18	准教授	戒能 智宏	コエンザイム Q (ユビキノン) の生合成、代謝制御と機能の解明 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kaino.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kaino.html</a>
19	准教授	児玉 有紀	繊毛虫ミドリゾウリムシと共生クロレラを用いた細胞内共生成立機構の解明 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kodama.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kodama.html</a>
20	准教授	地阪 光生	脂質過酸化系関連酵素の構造と機能 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/jisaka.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/jisaka.html</a>
21	准教授	舞木 昭彦	生物多様性の維持機構の理論的研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/mougi.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/mougi.html</a>
22	准教授	吉田 真明	海産無脊椎動物の進化的新奇性を対象とした進化発生生物学 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yoshida.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yoshida.html</a>
23	准教授	西村 浩二	植物の細胞内タンパク質膜輸送機構 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/kenkyu_shozoku/nishimura.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/kenkyu_shozoku/nishimura.html</a>
24	准教授	吉清 恵介	シクロデキストリンをモデルとした分子認識の研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yoshikiyo.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yoshikiyo.html</a>
25	准教授	高原 輝彦	水生動物を対象とした行動生態学的研究と環境 DNA を用いた生物モニタリング <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/takahara.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/takahara.html</a>
26	准教授	松尾 安浩	分裂酵母におけるシグナル伝達経路 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/matsuo.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/matsuo.html</a>
27	助教	秋廣 高志	植物の新規膜輸送タンパク質の単離と解析 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/akihiro.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/akihiro.html</a>
28	助教	小野 廣記	海産無脊椎動物を用いた比較発生学的研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ono.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ono.html</a>
29	助教	蜂谷 卓士	植物の窒素栄養感知メカニズムの解析 <a href="http://shimane-u.org/staffs.htm">http://shimane-u.org/staffs.htm</a>
30	助教	須貝 杏子	島嶼における木本植物の生態遺伝学的研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/sugai.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/sugai.html</a>
31	助教	山口 陽子	脊椎動物の体液調節機構の比較生理・内分泌学的研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yamaguchiyo.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yamaguchiyo.html</a>
32	助教	石垣 美歌	分子分光法を用いた生体分子構造、機能の非破壊分析 <a href="https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000060610871/">https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000060610871/</a>
33	助教	ヘマンズ ヌータラパティ	ラマン分光法を用いた生命分析化学研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/HemanthNagNoothalapatVenka">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/HemanthNagNoothalapatVenka</a>

農林生産学領域

担当教員			主な研究内容
1	教授	浅尾 俊樹	養液栽培, 自家中毒 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/asao.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/asao.html</a>
2	教授	一戸 俊義	反芻家畜の飼養体系 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ichinohe.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ichinohe.html</a>

3	教授	井上 憲一	農業経営における資源の管理 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/inoue.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/inoue.html</a>
4	教授	太田 勝巳	園芸植物の形態形成とその調節 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ohata.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ohata.html</a>
5	教授	小林 伸雄	植物遺伝資源評価・活用 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kobayashin.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kobayashin.html</a>
6	教授	松本 敏一	果樹栽培・利用 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/matsumotot.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/matsumotot.html</a>
7	教授	松本 真悟	可給態養分, 有害重金属解析 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/matsumotos.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/matsumotos.html</a>
8	教授	吉村 哲彦	森林利用学 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yoshimura.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yoshimura.html</a>
9	准教授	赤沢 克洋	地域資源管理 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/akazawa.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/akazawa.html</a>
10	准教授	池浦 博美	園芸植物の香気成分解析 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ikeura.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ikeura.html</a>
11	准教授	江角 智也	果樹の生殖生理研究 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/esumi.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/esumi.html</a>
12	准教授	氏家 和広	作物生理, 栽培技術の開発 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ujjie.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/ujjie.html</a>
13	准教授	門脇 正行	光合成, 物質生産 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kadowaki.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kadowaki.html</a>
14	准教授	小林 和広	作物における機能的形態学・非生物ストレス <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kobayashik.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/kobayashik.html</a>
15	准教授	田中 秀幸	園芸植物における効率的栄養繁殖 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/tanaka.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/tanaka.html</a>
16	准教授	中務 明	園芸植物の有用遺伝子解析 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/nakatsuka.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/nakatsuka.html</a>
17	准教授	森 佳子	農業経営の金融活動と農村地域の農業金融のあり方 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/moriyo.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/moriyo.html</a>
18	准教授	米 康充	森林リモートセンシング <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yone.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yone.html</a>
19	准教授	高橋 絵里奈	森林資源管理 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/takahashi.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/takahashi.html</a>
20	准教授	保永 展利	中山間地域農業の社会経済分析 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yasunaga.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/yasunaga.html</a>
21	助教	足立 文彦	イネ・ダイズ・サツマイモの生産・品質と栽培環境 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/adachi.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/adachi.html</a>
22	助教	城 惣吉	微生物機能利用 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/shiro.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/shiro.html</a>
23	助教	宋 相憲	動物体組織発達の生理的制御 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/song.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/song.html</a>
24	助教	中間 由紀子	農業政策の史的分析 <a href="https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/nakama.html">https://www.life.shimane-u.ac.jp/gakubu_annai/kyoin_ichiran/gakubu_shozoku/nakama.html</a>

**2022年度 島根大学山陰法実務教育研究センター**  
**地域社会や職場等における法実務スキルアップのための“特別教育プログラム”**  
**受講生募集要項（7月入学）**

第一線で働く社会人が必要とする法律の高度な専門的知識と実践的な技能とは何か…。これらをわかり易く解説しながら修得していただく特別教育プログラムを皆様にご提供いたします。

### **1. 対象者：現職の社会人**

地域社会や職場等の中で法実務に従事または係わっておられる社会人の方で、ご自身の法律に関するスキルアップを目指す方を対象にしています（別紙履修資格表のとおり）。

### **2. 特別教育プログラムの特徴**

#### **履修証明書の交付**

履修期間は基礎の学び直しの期間である前半半年間と応用実践的な学習期間である後半半年間の約1年間を基本としますが、お忙しい方のために、前半だけまたは後半だけ、さらには短期履修型の期間だけと、受講者の学習目的に合わせて履修できるキャリアアップのための教育プログラムです。同一コース内での短期履修型については複数パッケージを受講できます。

なお、修了時に履修時間が60時間以上の場合は、学校教育法に基づき履修証明書を授与いたします。履修時間には各授業単元の課題学習時間（2時間以上）を含むものとします。

また、受講者の学習目的や都合等により短期履修型の受講で履修時間が60時間未満である場合には、受講した授業の受講証明書を発行いたします。

### **3. 特別教育プログラムの内容**

#### **◎ 企業法実務コース**

経済のグローバル化が進み、経済環境が一段と複雑化するに伴い、大企業のみならず中小企業の事業活動をめぐるトラブルも多発する傾向にあります。そして、その相手も、取引先・消費者・行政・住民など多岐にわたっていることから、今日、ビジネスパーソンには多くの法的知識の理解とそれに基づく実践的処理能力が求められています。

このコースでは、下記に示す授業内容を通して、中小企業の社員が担当する業務に関して必要な法知識と実践的な法運用能力を修得することを目的としています。

東商ビジネス実務法務検定試験1級ないしは2級レベルを想定します。

なお、内容について変更する場合があります。

#### **(1) 前半半年間：社会人のための学び直し教育プログラム（20コマ）**

このコースでの学び直しの基礎となる民法をはじめ、会社法と民事手続法について、これらの法分野に係るスキルアップをはかっていきます。

- ① 民法スキルアップ教育プログラム (12 コマ)
- ② 会社法スキルアップ教育プログラム (3 コマ)
- ③ 民事手続法スキルアップ教育プログラム (5 コマ)
- ④ 各授業単元課題学習 (注)

(前半半年分)

	授 業 内 容	担当教員(予定)	短期履修型 (授業パッケージ)
第 1 回 7/6 (水)	民法 (1) 民法の通則① ～民法序論, 権利の主体と権利の客体～	島根大学名誉教授 【朝田 良作】	民法に限定した 短期履修 1,426 円 (税込) ×12 コマ =17,112 円
第 2 回 7/13 (水)	民法 (2) 民法の通則② ～意思表示・法律行為の無効と取り消し～		
第 3 回 7/20 (水)	民法 (3) 民法の通則③ ～代理, 条件および期限・期間, 時効～		
第 4 回 7/27 (水)	民法 (4) 物権の働きと種類, 物権的請求権, 物権変動のルール		
第 5 回 8/3 (水)	民法 (5) 担保物権① ～留置権, 先取特権, 質権～		
第 6 回 8/9 (火)	民法 (6) 担保物権② ～抵当権, 譲渡担保～		
第 7 回 8/17 (水)	民法 (7) 契約の通則 ～契約序説, 債務不履行責任等～		
第 8 回 8/24 (水)	民法 (8) 財産権移転型契約 ～売買を中心に～		
第 9 回 8/31 (水)	民法 (9) 財産権利用型契約 ～消費貸借, 賃貸借を中心に～		
第 10 回 9/7 (水)	民法 (10) 労務提供契約とその他の契約 ～委任, 請負を中心に～		
第 11 回 9/14 (水)	民法 (11) 法定債権契約 ～事務管理, 不当利得, 不法行為～		
第 12 回 9/21 (水)	民法 (12) 責任財産の保全と民法 ～債権者代位権, 詐害行為取消権～		
第 13 回 9/28 (水)	会社法 (1)	なかがわ 法律事務所 弁護士 【中川 修一】	会社法に限定し た短期履修 1,426 円 (税込) ×3 コマ =4,278 円
第 14 回 10/5 (水)	会社法 (2)		
第 15 回 10/12 (水)	会社法 (3)		

第 16 回 10/19 (水)	民事手続法 (1) 貸金の返済請求と売掛金の回収事案に即して	山陰法実務教育 研究センター 特任教授 【熱田 雅夫】	民事手続に限定 した短期履修 1,426 円 (税込) ×5 コマ =7,130 円
第 17 回 10/26 (水)	民事手続法 (2) 労働契約に関する事案に即して		
第 18 回 11/2 (水)	民事手続法 (3) 交通事故の事案に即して (刑事手続きおよび免許取消等の行政処分も含む)		
第 19 回 11/9 (水)	民事手続法 (4) 給料の差押え等の手続きと家庭裁判所の手続き		
第 20 回 11/16 (水)	民事手続法 (5) 民事手続法のまとめ		

(2) 後半半年間：企業法務に係る事例研究による実践的な学習 (15 コマ)

前半半年間の基礎的な学び直しを踏まえ、会社法務など企業法務に係る事例を取り上げ、実践的な学習を行います。

- ① 労働法実務演習 (5 コマ)
- ② 民事手続実務演習 (5 コマ)
- ③ 企業法特殊講義 (5 コマ)
- ④ 各授業単元課題学習 (注)

(注) 各授業単元課題学習とは、各回の授業ごとに事前に課題を出し、その課題につき予習をしていただく学習のことです。各回の授業の予習は2時間行っていただきます。もちろん、2時間以上行っていただいても結構です。

(後半半年)

	授 業 内 容	担当教員(予定)	短期履修型 (授業パッケージ)
第 1 回 11/24 (木)	労働・労務管理に関する法実務 (1) 労働基準法・労働安全衛生法の概要	アリシア社会 保険労務士法人 社会保険労務士 【加本 るい】	労働・労務管理 の法実務を対象 とする短期履修 1,426 円 (税込) ×5 コマ =7,130 円
第 2 回 11/30 (水)	労働・労務管理に関する法実務 (2) 労働時間管理に関する留意点		
第 3 回 12/7 (水)	労働・労務管理に関する法実務 (3) 労働契約に関する留意点		
第 4 回 12/14 (水)	労働・労務管理に関する法実務 (4) パートタイム・有期雇用労働法 (同一労働同一賃金)		
第 5 回 12/21 (水)	労働・労務管理に関する法実務 (5) 育児介護休業法、パワハラ防止、高齢者雇用等		

第6回 1/4 (水)	企業法務において重要な民事手続法 (1) 貸金請求における領収書	山陰法実務教育 研究センター 特任教授 【熱田 雅夫】	企業法務で重要な民事手続法を対象とする短期履修 1,426円 (税込) ×5 コマ =7,130円
第7回 1/11 (水)	企業法務において重要な民事手続法 (2) 土地取引事例において80%をめざすとは		
第8回 1/18 (水)	企業法務において重要な民事手続法 (3) 売買事例における証人尋問への対応		
第9回 1/25 (水)	企業法務において重要な民事手続法 (4) 破産等民事手続と取引関係の影響		
第10回 2/1 (水)	企業法務において重要な民事手続法 (5) 弁護士業務の紹介：法令 (特に民事手続法) の説明を軸に		
第11回 2/8 (水)	企業法実務特講 (1)	熱田・廣澤 法律事務所弁護士 【廣澤 努】  【労働局職員】	短期履修型と組み合わせ受講 1,426円 (税込) ×5 コマ =7,130円
第12回 2/15 (水)	企業法実務特講 (2)		
第13回 2/21 (火)	企業法実務特講 (3)		
第14回 3/1 (水)	企業法実務特講 (4) 島根県における中小企業の実情と施策	双湖事業化計画 合同会社 代表 【松本 協一】	
第15回 3/8 (水)	企業法実務特講 (5) 起業家精神 (アントレプレナーシップ) と法 / ビジネスプランの実際		

- 前半半年間 \*民法 (講義・課題学習) (100分+120分) ×12回 ≒44時間  
\*会社法 (講義・課題学習) (100分+120分) ×3回 ≒11時間  
\*民事手続法 (講義・課題学習) (100分+120分) ×5回 ≒18.3時間
- 後半半年間 \*労働・労務管理に関する法実務 (演習・課題学習)  
(100分+120分) ×5回 ≒18.3時間  
\*企業法務において重要な民事手続法 (演習・課題学習)  
(100分+120分) ×5回 ≒18.3時間  
\*企業法実務特講 (演習・課題学習)  
(100分+120分) ×5回 ≒18.3時間

上記授業パッケージのうち、合計 60 時間以上受講するよう選択し受講すると、履修証明書が交付される。

#### 4. 募集人員 12名程度

#### 5. 履修期間及び授業時間帯

履修期間：2022年7月1日（金）から2023年3月31日（金）まで

授業時間帯：定期の授業は、原則、平日の18時45分から20時25分までの時間帯に行います。

#### 6. 受講料

受講料は、合計35回の授業を受講した場合の48,889円（税込）を基本としますが、短期履修型の受講料については、1授業単元の受講料を1,426円（税込）として履修された授業パッケージの合計授業単元数に乗じた額とします。

#### 7. 受講会場

新型コロナウイルス感染症防止策をとるため、オンライン講義を行います。

そのため、自宅等にインターネット環境（Wifi等）が必要となります。自宅等にインターネット環境のない方は別途ご相談ください。

#### 8. 申請手続

##### (1) 申請方法

志願者は、(3)の申請書類等を取りそろえて(4)に提出してください。

郵送する場合は、「簡易書留」郵便とし、封筒に「法実務スキルアップ特別教育プログラム申請書類在中」と朱書きしてください。

##### (2) 申請期間

2022年4月11日（月）から2022年5月31日（火）までの土曜日・日曜日及び祝日を除く毎日午前9時から午後5時まで（郵送の場合も5月31日（火）午後5時までに必着。）

##### (3) 申請書類等

提出書類等	摘 要
①志願書	本センター所定の用紙を使用し作成したもの
②履歴書	本センターの用紙を使用し、写真1枚を貼付したもの
③志望理由書	本センターの用紙を使用し、志望動機及び理由を記入してください。
④返信用封筒	履修者決定通知のため、申請者の郵便番号、住所、氏名を記入し、郵便切手84円分を貼った長形3号（12cm×23.5cm）のもの
⑤その他	その他センターが必要と認める書類

(4) 申請書類提出先

〒690-8504 松江市西川津町1060  
島根大学松江地区学部等事務部総務課

**9. 選考方法**

志願者の提出書類（志願書，履歴書及び志望理由書）をもとに，専門性又は実務経験から判断して選考します。

**10. 受講者決定の通知**

本人に文書により通知します。

**11. 履修証明書の交付**

本コースで60時間以上履修し修了した者には，履修証明書を交付します。

（学校教育法第105条の規定に基づく証明書）

なお，60時間未満の履修者であっても希望される方には，受講した授業の受講証明書を発行します。

**12. 問合せ先**

**【申請書類・プログラムに関する問い合わせ先】**

島根大学松江地区学部等事務部総務課

TEL (0852) 32-9835 Fax (0852) 32-6125

**個人情報の取扱い**

提出された書類の氏名，住所等の個人情報については，履修者の選考，申請者への連絡のほか，教務修学事務関係，教育・研究活動関係等の業務を行うためにのみ利用します。他の目的に利用し，又は提供することはありません。

別 紙

○履修資格表

履修できる者は、次の1から9のいずれかに該当する者としてします。

No.	要 件
1	大学を卒業した者
2	学校教育法（昭和22年法律第26号）第104条第4項の規定により学士の学位を授与された者【大学評価・学位授与機構から学位を授与された者】
3	外国において、学校教育における16年の課程を修了した者
4	外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者
5	我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者
6	専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者
7	文部科学大臣が指定した者（昭和28年文部省告示第5号） 【文部科学大臣の指定による、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者とは次の者をいいます。旧大学令のよる大学、旧高等師範学校・学校専攻科、高等師範学校・女子高等師範学校、防衛大学校、防衛医科大学校、水産大学校、海上保安大学校、職業訓練大学校、気象大学校などの卒業（修了）者】
8	学校教育法（昭和22年法律第26号）第102条第2項の規定により大学院に入学した者であって、本学において認定試験を行い、本学山陰法実務教育研究センターにおける教育を受けるにふさわしい学力があると認めたもの
9	本学の山陰法実務教育研究センターにおいて、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者

島根大学松江地区学部等事務部総務課

TEL (0852) 32-9835 FAX (0852) 32-6125